

1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)	良く なっている	一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・最近では売上が大変好調に推移している。特に顕著な動きとして、当地に入港しているロシア船に積み込むウイスキー、ブランデー、ウォッカなどの注文が増えている。また、8月については、大型客船への納入が新規に決まったことも売上に大きく寄与している。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・8月30日現在の乗降客数は前年を約13%上回っており、10か月連続で前年を上回っている。
	やや良く なっている	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・8月に入っても外国人客を中心に売上が伸びている。特に特選ブティックブランドや化粧品の伸びが高くなっている。ただ、一般客向けのデイリー商材の需要はやや低下している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・お盆商戦はピークの前倒し傾向がみられるものの、総じて前年の売上を上回ることができた。また、プレミアム付商品券が発行されている市町村の店舗では総じて売上が好調に推移している。
		スーパー（役員）	単価の動き	・プレミアム付商品券の効果で、お盆期間の買物を中心に5%ほど客単価が上がっている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・お盆期間については、スイカやメロンなどの単価の高い商材が好調に動いたこともあり、前年以上の売上を確保できた。イベントなどに対する消費が回復傾向にあることから、やや良くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・8月は天候が回復したことなどから、新商品の販売が好調であり、売上も回復傾向にある。観光客の動向も良かった。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・8月の売上は前年比108%であった。売れると予想した商材の陳列を強化するなど、メリハリのある売場づくりが奏功した。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・浴衣の売上は、夏祭りにあわせて各団体、企業からの注文があったこともあり、例年どおりであった。一方、8月にホテルで行った展示会催事では、高額商材を買う客もみられたが、売上は前年並みであった。夏祭りにあわせて、たくさんの人が市街地に出てくるものの、大型量販店が郊外に進出してから、市街地の消費者の流れが変わっており、夏祭り期間中以外の平日は市民、観光客ともに人出が少なくなっている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・8月前半は猛暑の影響もあり、エアコン、扇風機、冷蔵庫、洗濯機などがよく売れた。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	販売量の動き	・原油価格の急落により、石油製品価格も下落しており、それに伴い販売量が伸びている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・知床の世界遺産登録10周年に伴い、道東の露出が増加していることで観光客も増えている。また、例年どおりスポーツ合宿の動きが活発なこともあり、夏季の需要は堅調に推移している。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・8月は添乗や大会、イベントのあっせんで客と接する時間が多く、客の飲食、土産などの消費動向をみる機会が多かったが、旅行先においても、当地においても、客が消費を抑えている様子はみられず、むしろお金を使っているという雰囲気が強かった。
		タクシー運転手	販売量の動き	・8月は夏休み期間中だったことから、観光客が多く、売上も3か月前と比べて約27%上回った。前年比でも約5%売上が増えていることから、景況感はやや良くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・観光、特にホテル関連が堅調であり、業界からの良い話を耳にすることが増えてきている。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・前年と比較すると、ツアー客の数は減少しているが、外国人を始めとする個人旅行者が増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・プレミアム付商品券が発行され、商店街でも多少の利用はあるものの、プラスといえるほどの効果がみられないのが現状である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の反応は変わらない。天候要因に影響されることもなく、同じような動きとなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・8月中旬までは地元イベント期間ということもあり、主に飲食関連を中心とした業種で売上を伸ばしたが、物販店に関しては、中元商戦、ボーナス商戦の時期であるにもかかわらず、客の買い控えがあり、例年よりも落ち込んだ店舗が散見された。また、市内では他県ナンバーの車もよく見かけたが、当商店街の区域ではあまり駐車していなかったことから、商品購入のためではなく、通過点としての意味合いが強いことがうかがえる。これらのことから、全体としては景気の状態はあまり変わっていない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・悪天候の日がそれほどなかったことから、消費が好調に推移するとみていたが、ファッション関連が例年並みで推移したほか、行楽地の入込も横ばいで推移するなど、上昇機運が感じられなくなった。8月は全国大会などが多く開催されたことで、ホテルなども満室の日が多かったが、消費は前年と大きく変わらず、残念な結果であった。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・8月は文化催事の展開に伴う集客があったものの、夏物セールの婦人関連の売上が前年の90%台となるなど、前年を大幅に下回った。中元商戦に関しては、6月の早期受注が好調だったことの反動で、後半戦の8月に入ってから失速している。また、8月下旬から、秋物の立ち上げを展開しているが、定価品の売上はまだ前年の95%にとどまっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・改装工事に伴う売場面積の減少があるとはいえ、外国人観光客による売上が200%の伸びとなったにもかかわらず、全体では前年並みの売上にとどまっている。また、中元商戦については、来客数が前年比97%と若干マイナス傾向にあるが、客単価が上昇したことによって前年並みを維持している。
		百貨店（担当者）	来客数の動き	・8月上旬は景気が上向くような兆しがみえたものの、お盆を境に以前の状態に戻っている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・売上、販売量共に前年比86%と前年の80%台となっており、低空飛行の状態が続いている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・8月の売上は前年比104%と回復傾向にあるものの、買上客数は前年比98%となっており、前年割れが続いている。その一方で、客単価は前年比106%と上昇しており、客1人当たりの買上点数が増加傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が前年を下回る状況が続いている。
		コンビニ（オーナー）	来客数の動き	・引き続き外国人観光客が増えている。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・客単価が前年と比べて、2,000円の減少となっている。客の財布のひもが固く、必要な商材しか買わない流れとなっている。
		衣料品専門店（店員）	単価の動き	・セール期間に入っても単価の高い商材の動きが悪い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数が減少しており、販売台数の上向かない厳しい状況が続いている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・なかなか市場に伸びがみられるようになってこない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・7月と比べて、全体的に販売台数が伸びていない。
乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・新車、中古車共に受注量が一向に上向いてこない。新型車が投入されても、その分が上乗せにならない。中古車も展示場に来店する客がめっきり減ってきている。		
自動車備品販売店（店長）	販売量の動き	・集客CMやダイレクトメールなどの施策を行っているにもかかわらず、車検の売上は、車の保有台数減少や車離れの影響もあり、前年並みにとどまっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・8月は好天の日が多く、郊外に出かける客が多かったことから、売上は前年を下回った。また、料金を下げたメニューに人気が集まるなど、とても景気の高揚は感じない。前年度の北海道の観光入込客数が過去最高となったが、34%も増えた外国人観光客が頼みの綱であり、外国人対応していない飲食店や外国語のホームページを持たない飲食店にとって恩恵はなく、逆に円安に伴う輸入食材の値上げで首を上げている店も多い。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊予約が活況で状態は横ばいで推移している。国内客、外国人客共に団体予約が好調である。
		観光型ホテル（役員）	単価の動き	・全体的に宿泊単価を上げることができており、3か月前と変わらず売上は増加傾向にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・8月はタクシー1台当たりの売上が前年を上回ったが、乗務員不足でタクシーの稼働率が悪く、会社の売上としては前年を下回った。
		タクシー運転手	販売量の動き	・イベント需要が一時的に売上を下支えしている状態にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・実績、予約状況共に前年並みでほとんど変わっていない。イベント関係の業務がわずかではあるがプラスとなっている一方で、観光関係がマイナスとなっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・社員の高齢化に伴う社員数の減少により、売上が減っている。他産業による雇用が好調なため、新入社員を確保しづらい状況にあるため、運転手1人当たりの売上を伸ばす工夫を模索している。
		通信会社（企画担当）	来客数の動き	・例年に比べて、都市部、地方、年齢層を問わず来客数が少なく、その影響で売上も伸びなかった。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・株価が思った以上に上昇しない状況にあるため、景気は踊り場を迎えている。また、株価が乱降下しているため、非常に難しい局面となっている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・毎年、お盆期間中は家族での来店が多くなるが、今年は例年よりも少ない状況にある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・バンコクでの爆破テロの影響もあり、8月後半になり、特にタイを中心とした東南アジアからの観光客が減っている。タイの航空会社も9月の減便を決定したそうである。
		百貨店（販売促進担当）	それ以外	・消費税増税後の反動増がみられた3か月前との比較では、増加幅が徐々に縮小傾向にある。春夏物の処分時期の違いや天候不順などの要因があるにしても、顧客の購買動向は鈍化している。競合店出店の影響により落ち込んだ商品領域の回復もみられない。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・最近の食品部門の消費者動向をみると、競合店を含めて価格に敏感に反応しており、価格訴求が弱いチラシを出しても来客数が増えない状況にある。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・相次ぐ食品価格の値上げが、客の財布のひもを一層固くしている。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・これまで年金の支給月は比較的安全感があったが、8月は今一つである。客が健康に関する不安よりも、財布のひもを気にしており、厳しい状況にあることがうかがえる。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・当店はランチのウエイトが大きいですが、夏休み期間に入ってから、ランチの来客数が前年を12%下回っている。ただ、ディナーの来客数は前年を上回っている。来年3月の北海道新幹線の開通を控えていることで、観光客が当地よりも他地域を訪れるようにしているのか、最終的に8月の来客数は前年を10%下回った。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・以前よりも、客から安くといわれる案件が増えている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・食品などの値上げが続くなか、客の所得が増えていないため、可処分所得が減少しており、以前よりも支出を控える傾向が出ている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数が前月や前々月よりも約5%落ち込んでおり、前年比でも約10%の落ち込みとなっている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・これまでの反動か、一時期の上昇気分が少し冷めてきている。
		住宅販売会社（役員）	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームを訪れる客の歩留まり率が低下しており、契約率が低下してきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・沿岸地区の店舗の売上が厳しい。台風によるこんぶ漁、さんま漁の不調が大きな要因となっている。また、競合店の出店が続いていることの影響も大きい。観光客の来店もみられるが、客単価が低い。
企業 動向 関連 (北海道)	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大都市圏での需要が好調である。輸出関連も伸びている。
		金融業（企画担当）	それ以外	・外国人観光客の大幅増加により、観光関連のホテル、旅館、観光バス、菓子メーカーなどが堅調である。外国人旅行者向け消費税免税制度を活用した免税店も増加しており、外国人客でにぎわっている。設備投資は半年後の北海道新幹線開業と外国人観光客受入のため、道南、二セコ、札幌市内などでホテルの新設、改装が増加している。
	変わらない	コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・取引先において、拠点のリニューアルなどの設備投資の動きが活発になっている。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注状況をみても3か月前と特に変わらない状況にある。
		建設業（従業員）	取引先の様子	・民間から見積の引き合いがあるのはホテル業界くらいであり、それも新築はなく、改修程度である。製造業の建設投資や分譲マンションの新規着工もほとんどみられない。需要がみられるのは公共工事が中心であり、それも例年より低い発注額となっている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・飲料品、医薬品、生乳の道外向け輸送は順調であるが、紙製品の売行き不振により、全体的な輸送量が落ち込んでいる。
		輸送業（支店長）	競争相手の様子	・あまり良くない状態が変わってこない。同業者との情報交換においても目立った進展がみられない。ただ、情勢が後退するような話もみられない。
		司法書士	取引先の様子	・一般的な不動産取引、特に宅地造成している土地については、大手のハウスメーカーが土地付き建売住宅を販売しているため、比較的取引量が多いが、それ以外の取引については変化がみられない。
		司法書士	取引先の様子	・景気回復の兆しがみえてこない。不動産取引の引き合いはあるものの、契約が成立しない案件が多い。
その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）		取引先の様子	・前年に比べて、公共工事の予算が減額されていることで取引先の疲弊が目立っている。	
その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）	受注量や販売量の動き	・8月は建設着工面積が多いにもかかわらず、売上は3か月前とほとんど変わらない。		
やや悪くなっている	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・6月ごろから売上の前年割れの状態が続いている。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用 関連 (北海道)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・道内においても有効求人倍率が過去最高を記録しており、実際に人材不足の様相となっている。人材紹介事業への求人数は増加傾向にあり、派遣のオーダーも多くなっている。最近では軽作業系のオーダーが目立っている。本来であれば、パートやアルバイトに対応していたはずの業務であるが、パート、アルバイトを集められないほど、求人がタイトになっているようであり、全体的に企業活動が活発になっていることがうかがえる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数が66か月連続で前年を上回っている。特に新規求人数は前年比で12.9%の増加となった。また、来春卒業予定の新規高卒者に対する求人は、企業の人材確保の出足が早いこともあり、前年比で23.5%増加しており、求人倍率は前年を0.51ポイント上回る2.29倍となっている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・3か月連続して新規求職者数、有効求職者数が減少しており、有効求人倍率も過去最高値となった。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	・生産年齢人口の減少や季節変動といった要因があることを考慮しても、中途採用においては相変わらず非正規の求人が多い状況にある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	・アルバイトやパートも採用しにくく、口コミや紹介などの手段も使わなければならない状況となっている。一方、今いるスタッフの正社員化でサービス向上を図る動きもみられる。これらのことにより、多少ではあるが正社員の求人が増えている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・正社員の求人は、看護師など、あらかじめ応募者が絞られるような職種が多い。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・募集広告の売上をみると、加工・製造、環境衛生、不動産の落ち込みが激しく、全体でも前年の90%にとどまった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が減少傾向に転じている。新規求人数は前年を6.6%下回り、20か月ぶりに前年を下回った。月間有効求人数は前年を1.7%下回り、29か月ぶりに前年を下回った。
	悪くなっている	-	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (東北)	良く なっている	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず客はタクシーを利用しているし、不景気だという話を聞くこともない。景気は良くなっている。	
		やや良く なっている	一般小売店〔書籍〕（経営者）	単価の動き	・プレミアム付商品券の発行に伴い、一般消費そのものは微増の傾向にある。
			一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きは前年同月と比較してもさほど変わらないが、買上点数が増えている。
			一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・諸般の事情により店頭の売上増加に力を入れられない期間が長引いているが、それでも売上は若干上向きに推移している。
			百貨店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税から1年が経過して、売上が落ち着いてくるとみていた宝飾時計などの高額商材の動きであるが、現在も予想以上に動いている。また、食品などの日用品も好調に推移しており、景気は引き続き上向き傾向にある。ただし、天候が良く来客数が増えた月の前半に対して、後半に入ってから雨の日が続いており、売上はやや低下傾向にある。
			スーパー（店長）	販売量の動き	・夏日が多く夏型消費の売行きが好調である。そのため、売上、来客数共に前年を上回っている。
			スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が増加しており、その分買上点数も増えている。ただし、その一方で客単価や1品単価が下がっているため、売上を大きく伸ばせていない。
			コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・揚げ物、ドーナツ、いれたてコーヒーなどのカウンター商材が好調であり、来客数が5か月連続で増加している。
			コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・今月は天候などの外的要因が追い風になり、良い状況である。
			コンビニ（店長）	来客数の動き	・気温と天気恵まれ、例年よりも来客数が多い。経営している複数店舗のうち、一部の店は競合店の影響を大きく受けているものの、その他の店は来客数、売上共に順調である。また、天候のおかげで祭りも盛況に終わっており、県全体の商売が良い状態であったとみている。
			衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・お盆までは夏物商材を中心に需要が増えていた。更に秋物商材の立ち上がりも前年よりも2週間早く、単価の高いボトム中心に動きがある。
			その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・原油価格の下落によって石油製品の価格も下がっている。また、夏休みのレジャーシーズンとも重なり需要が増えているが、仕入価格が下がっているため、粗利益も回復してきている。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今月は、学校の夏休み、七夕、お盆など夏のイベントが多く、当業界におけるハイシーズンである。ツアーによる団体客は少ないものの、家族単位の客が多く客室利用の効率も良い。また、家族構成上、館内消費も好調であり明るい月である。			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・ここ数か月は予約が多く、今月も売上は右肩上がりとなっている。客の利用人数が増加傾向にあるためであるが、特に今月は前年比で単価が非常に伸びており、結果として非常に順調に推移している。
		テーマパーク（職員）	単価の動き	・わずかではあるが、客の購入単価が上がってきている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が増えている。団体客の予約状況は前年よりも若干落ち込んでいるものの、それを上回るように予約のないフリー客が増えており、売上を押し上げている。
		遊園地（経営者）	競争相手の様子	・近隣に外資系の大型商業施設がオープンしており、県外ナンバーも多く見られている。また、新規オープンした水族館も好調らしく、消費が上向いているように見受けられる。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・客単価、売上、来客数共に、前年比120%程度で推移している。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・待機中の不動産が大きく動いており、建築の受注にもつながっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・猛暑のせいか商店街への客足が鈍りがちであり、その影響が各店の景況にも表れている。また、効果が期待されているプレミアム付商品券であるが、使用方法の広報不足により客に戸惑いがみられている。さらに、決裁方法が現金から変わっただけという見方もあり、売上増加に寄与するには今一つといったところである。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・祭りやイベントなどでは好天に恵まれ、こちらが思っていたほど来客数は落ち込んでいない。そのため、数字的にも順調な形で推移している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・駐車場ばかりが出来て人が歩いてない。商店街は閑散としている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・プレミアム付商品券が発売されて以降、7月からお盆にかけて売上の前年比が商店街全体平均で100%超えとなって好調であった。しかし、プレミアム付商品券の使用が一巡したことと地方選挙の影響で、8月中旬以降はマイナスの方向に進んでいる。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・8月は猛暑が続いたが、寝具関係の売上は思いのほか伸びていない。
		一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・低価格商材の動きは少しずつ良くなってきている。しかし、高価格商材の動きは横ばいそのまま推移しており、結果的に売上は変わらない状態である。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・現状に特に変化はみられない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・夏物商戦の終盤であるが、プレミアム付商品券の利用は食品を中心とした身の回り品の利用が多く、消費拡大にはつながっていない。
		百貨店（買付担当）	販売量の動き	・値下げをしているが単品買いの傾向は変わらない。また、前年に比べて定価品の動きが鈍く、買上単価を上げられていない。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・メーカーの夏物セール商材の在庫量が少なく、月の前半は厳しい状況であった。ただし、中旬以降は気温も下がって店頭も秋物に切り替わっており、前年以上の販売量で推移している。
		百貨店（経営者）	お客様の様子	・お中元ギフトについては例年どおりの動きをみせたものの、クリアランスセールは実施当初から反応が鈍く低調である。また、お盆商戦も例年ほどのにぎわいがなく、全体的に盛り上がり欠けている状況である。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・8月中旬から気温が低下したため夏物の動きが鈍化している。また、平均単価の前年比も落ち着いてきており、売上、来客数の推移も前年並みとなっている。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・既存店では売上が前年比101%、客単価はほぼ100%であり、3か月前と比較しても景気が回復しているとはいえない。ただし、今年に入ってからの原因の特定できない人手不足が続いており、各企業とも求人四苦八苦している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・暑さのため飲料やアイスの売上は増加したものの、全体的には低調に終わっている。また、全体的に来客数が減少しており、夏祭りの花火大会においても前年を下回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数に変化はない。景気がなかなか上向かず失業者も多くなっており、厳しい状況である。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・今月は好天に恵まれ、気温の上昇に伴い来客数が増加しており、ドリンク類やアイスクリームなどの売上が伸びている。ただし、客単価は前年を下回っており、結果として売上は前年比100%ぎりぎりとなっている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・競合店の閉店などにより売上は改善しているが、客の購買単価が上昇しているわけではない。ただし、イベントなどでは来客数、販売量共に前年並みで推移しており、客はお金を使うところでは使えるようになってきている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数は特に変化なく推移している。また、販売量に関しても、わずかな変動で推移している。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・ドラッグストアやコンビニの新規出店は相変わらず進んでいるが、常連固定客が多い当店においては、特に大きな変化はない。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・秋らしい気候になり秋物が急に動き始めている。単価が前年より10%ほど上昇しているものの、来客数は増加していないため、売上は3か月前と同じ状況である。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・制服の貸与年数がのびている企業が増えており、秋冬物の事務服や作業服などの新規発注が少ない状況である。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・シャツ、スラックスなどのクールビズアイテムの買い足し需要が例年より大幅に減少しており、買い控えが更に進んでいる。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・夏物のセール品の売上が伸び悩んでいる。さらに、秋物の売上も良くない状態であり、全体的に消費動向の鈍さがうかがえる。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年に比べて来客数が減少している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・お盆までは猛暑の日が続いたため、冷房、エアコン、冷蔵庫などが好調に売れていた。しかし、お盆以降は気温が低下したこともあって急激に販売量が減少しており、前年比90%に留まっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税後の反動減の影響が残っている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・4月の軽自動車税増税以降、販売量が伸びていない状況が続いている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・毎年のことであるが、8月は新規客の来店がいつもより少なくなる時期である。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・繁忙期にかかっているものの、客足は遠のいており、依然として新車部門の前年割れが続いている。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・住宅事情が改善して耐久消費財である家具が売れてくると考えていたが、今のところはまだそう変わらない状態である。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・仏壇、仏具を取り扱っている。お盆ということもあって小物を中心に販売が好調であり、今月は目標をなんとかクリアしている。
		その他専門店【酒】（経営者）	販売量の動き	・お盆期間中は飲食店がにぎわっていたものの、全体的に動きが悪く、特に手頃な価格である定番商品の動きが鈍い状態である。一方、コストパフォーマンスが良く質的にグレードの高い商品の動きは良い。このような傾向は今まで都市部でみられていたが、地方においても顕著になってきている。
		その他専門店【パソコン】（経営者）	販売量の動き	・春以降、販売動向に極端な動きはなく、利益的にも薄い状態が継続している。
		その他専門店【酒】（経営者）	販売量の動き	・前半は天候も良く、お盆中は例年以上に飲料水、アルコールの販売量が好調だったものの、お盆が終わると人の動きがびたりと止まり、飲食店も静かである。前半が良かった分、後半の急落が余計にこたえている。
		その他専門店【靴】（従業員）	販売量の動き	・夏らしい暑さがお盆まで続いて夏物商材が順調に売れている。また、お盆を過ぎてからは一気に涼しくなったため、秋物商材の動きが出てきており、客単価も上がっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・8月前半は猛暑の影響もあって販売量が前年を超えていたが、中旬以降は天候の崩れとともにその勢いは一気に衰えてきている。そのため、最終的にはこれまでと同様に前年割れからの回復はできていない。
		高級レストラン（経営者）	単価の動き	・少しずつ良くなってきていると期待はしているが、なかなか結果が出ていない状況である。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・商品の値上げにより来客数は若干減少したものの、客単価は上昇している。そのため、結果的に売上は同じという状況であり、客の様子に変化はみられていない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・お盆を過ぎてからはめっきり来客数が減っている。お盆までは好調であったため売上としては変わらないが、今月後半の動きをみるとあまり良い雰囲気とはいえない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・当館の来客数もそうであるが、同業者や他業種の人の会話からも、相変わらず景気は低迷したままであることがうかがえる。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・当館の数字は順調に増えているものの、エリア内では来客数が伸びていないので、全体としてはそれほど変わらない傾向が続いている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・夏のこの時期にしては、家族連れを含む個人客の来客数が今一つ増えていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・今年は地元で大規模な祭りが開催されたが、この祭りをピークに客の動きは鈍ってきている。また、各ホテル共に苦しい状況であったが、8月の全国中学校体育大会の開催により救われ、ようやく前年並みとなっている。また、売上自体も横ばいであり、前年比に関しても前年並みで推移しているが、客のにぎわいの様子は今一つである。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊は相変わらず好調であり、毎月目標を達成している。ただし、宴会部門は一般宴会、婚礼共に目標を達成できていない、また、レストランは個室の個人利用が増えている分、売上は少し伸びている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・依然として海外旅行の受注状況が思わしくない状態であり、申込件数が前年よりも減少している。
		通信会社（営業担当）	競争相手の様子	・設備投資をちゅうちょしている企業が見受けられる。経営トップは頻繁に新規事業の話をするものの、慎重になって保留している状況である。中国経済の不安定により先行きが不透明になっているためであり、ひとつでも明るい兆しがみえれば、また変わっていくのではないかと。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・物価の上昇が継続している。また、好調であるのは一部の大手企業だけであり、全体的な景気の向上にはなっていない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化はみられない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・建設業以外はコスト削減の要求が厳しい状況である。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が最も増えるお盆期間に雨が多く、また、その後の天候不順もあり来客数は伸びていない。ただし、前年と比較した場合は若干の増加となっている。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・3か月前と同じような状態である。また、目玉商品はあるものの、月単位での販売量は前年を下回っている。
		美容室（経営者）	単価の動き	・客単価の前年比にほとんど変化がみられない状況が続いている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・例年であれば、夏祭りの時期は浴衣の着付けの仕事が増えるが、今年はお金をかけないように、雑誌などを見て客が自分で着付けをしている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・住宅関連の仕事が落ち込んでいる状態が続いている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・8月単月では前年実績を超過している。前月の落ち込み分も回復しており、累計でほぼ計画通りとなっている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・7月まで順調に推移していた来客数が、8月中旬以降は目立って減少してきている。これは低価格販売店にとっては死活問題であり、9月以降の天候回復に期待したい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・中間層の顧客や上顧客の服飾雑貨、身の回り品などの購入スタイルが、ファッションやおしゃれを意識したものから価格を意識したものに变化しつつある。ブランドのしっかりしたものでも、自分のおしゃれに必要な不可欠な商品以外はデパートで購入することを控える客が目立ってきている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・例年この時期の秋物商材が動かないのは残暑によるものであるが、今年は残暑もなく一気に秋に入ったにもかかわらず、秋物商材の動きが非常に遅く厳しい状況である。また、ライセンスの切れた海外ブランドの撤退も、売上の減少に大きく影響している。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数は安定しつつも微減している。また、買上点数も伸びていない。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・お盆終了後から明らかに客は節約志向に傾いている。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・プレミアム付商品券の効果は、お盆でほぼ終了している。猛暑の影響で動きの良かった飲料以外は、ここにきて軒並み販売量の伸びがみられなくなっている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・海外の経済状況や客の様子からは、景気が悪くなっているように見受けられる。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・8月は祭りやお盆休みで稼働日数が少ない。更に展示会などの来客数が急に少なくなっており、商談自体の件数が減少してきている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・祭りがあり、更に天候も良かったが、売上、来客数共に落ち込んでいる。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（営業担当）	販売量の動き	・労働人口の減少や経費削減などがあるのか、各企業とも夏服の注文数が少なく、売上のことも寂しい状況である。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・選挙がある月は来客数が伸びずに苦戦する。特に夜の影響が大きく、観光客をターゲットにしても埋めることができていない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ディナータイムの来客数及び客単価の減少が顕著であり、前年同月と比較しても勢いが良く分かる状態である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・予約の数が少ない。当店はまだ良いほうであるが、同業他社はかなり予約の数が少ないと聞いている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・夏祭りやお盆においての入込数が前年よりも少なく、今一つである。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・宿泊、レストラン、婚礼など、個人が利用する部門の売上が頭打ちとなっている。先々の予約も芳しくない状況であり、消費の落ち込みを実感している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・巷では景気が良くなっているというが、当社に限っては夏の個人旅行の販売量が前年を大きく下回っている。飛行機の減便や暑さのせい、国内の動きも鈍い状況である。
		タクシー運転手 タクシー運転手	お客様の様子 来客数の動き	・ますます乗り控えが目立ってきている。 ・客からは、景気が悪いという話は良く聞くが、景気が良いという話はほとんど聞かない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・今年は天候が良く、北国の短い夏の暑さをアウトドアライフで楽しむ人が増えている。そのため、テレビやインターネットといったインドアライフには目が向かないのか、利用者が減少し解約者が若干増える傾向がみられた。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・もっとも重要な時期であるお盆近辺から天候不順が続いている。また、新規オープンした水族館の盛況や、閉園する市内の遊園地の入込の影響も加わり、来客数は前年比で20%を超える落ち込みとなっている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数がどんどん減少している。
		一般小売店[医薬品]（経営者）	お客様の様子	・お盆までは猛暑ということもあって売上は前年並みに良かったが、それ以降は客足が全く途絶えている。また、気温の低下により風邪を引いても、節約して風邪薬を買わずに治すという人が増えている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・猛暑のせい、街中は心なしか人通りが少なく元気がない。スーツを着ている人も上着を脱いで歩いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・暑い日が続いてなかなか外に出たがらないのか、来客数が少ない。さらに、お盆の期間中などは、あまり客は洋服を買いに出てこない。	
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・上旬は暑かったが中旬以降から涼しくなり、盛夏用のサマースーツを購入する動機が薄れてしまっている。スーツや礼服を作るモチベーションも下がっており、大苦戦をしている。	
		その他専門店 [食品](経営者)	販売量の動き	・夏の商戦は非常に悪い状況であり、お中元、暑中見舞いなどの物品を購入する人が減っているように見受けられる。また、消費者はプレミアム付商品券を必需品に使用しており、し好品などには使用していないようである。	
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・お盆によって消費が増えたが一時的なものであり、全体の景気を左右するまでには至っていない。また、来月に控えている地方選挙の影響により、8月後半は特に夜間の客足が途絶え気味であり、これは来月まで足を引っ張るだろう。小さい街であり、選挙による街全体への影響が大きすぎる。	
企業 動向 関連 (東北)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-	
		農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・主力品種のももは好天に恵まれて品質も良く、例年よりも1週間早く最盛期を迎えており、お盆前の需要に間に合っている。また、販売単価も例年より2割程度上昇している。	
		出版・印刷・同 関連産業(経理 担当)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比較して、売上が伸びてきている。	
			金融業(広報担 当)	それ以外	・求人倍率が過去最高レベルを維持している。
	変わらない	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・暑さもありお土産品の動きが悪い。また、七夕まつりも人出は多かったものの、お土産を持ち歩いている人をあまり見かけていない。	
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・前年同月比の場合、レストランの売上は増加しているものの、物販の売上は増えていない。食物の土産購入にインバウンドは影響していない。	
		食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・販売量の前年割れ状態が続いており、収益状況も悪化している。	
		食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・一般消費についてはそれほど大きな変化はみられていない。しかし、進物商品の受注は前年を下回っており、消費者は購買に慎重になっている様子がうかがえる。	
		木材木製品製造 業(経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・住宅部材の需給バランスが悪く価格が低迷しており、収益が厳しい状況である。	
		土石製品製造販 売(従業員)	受注量や販売量 の動き	・冬季に向けた道路修復工事や積雪地域の補強工事が多くなる時期であるが、材料費や運搬費用の値上げが響いているのか、例年に比べ発注量が少ない状態である。	
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・顧客によっては受注量が増加しているが、全体として受注量が改善される傾向がみられない。	
		建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・来客数、受注量共に変化はない。	
		建設業(従業 員)	受注量や販売量 の動き	・復興関連公共工事の発注が停滞傾向にある。	
		建設業(企画担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・施工能力の限界状態がしばらく続いている。	
		輸送業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・現状に大きな変化はない。	
		通信業(営業担 当)	取引先の様子	・顧客減少を補うために新規開拓を開始しているが、認知度が低く苦戦を強いられている。	
		通信業(営業担 当)	取引先の様子	・企業に設備投資をする様子はみられない。	
		金融業(営業担 当)	取引先の様子	・プレミアム付商品券や、ものづくり補助金を活用した動きが良好である。	
		広告業協会(役 員)	それ以外	・8～9月の受注量に変化はない。ただし、不動産広告や求人広告などが動き出しているからか、10月以降の引き合いはきている。	
		広告代理店(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・印刷物は増刷の発注量が減っている。また、ホームページ作成コンペでは上限価格が下落している。ただし、新規オープンした水族館の仕事は順調である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・低調な状態から回復しつつあった海外個人旅行が、タイのテロ事件や朝鮮半島の情勢悪化により、申込を控えたり取消をする客が増えつつある。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・国際情勢による悪影響が懸念されるものの、現状では特に目立った変化はない。
		公認会計士	取引先の様子	・小売業関係は、売上が前年と比べ減少しており、なかなか戻らない状況である。また、建設関係は相変わらず小康状態であるが、利益を計上しているクライアントが多い。
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元繁華街において景況感を反映しやすい料飲店向けの販売量が横ばいであり、外食への支出が伸びていないことがうかがえる。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注に結びつくための案件の絶対数が少ない。得意先の様子見が継続しており、発注案件は最小限に控えられている。
		その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	取引先の様子	・出荷数が安定しており、順調である。
やや悪くなっている		農林水産業（従業者）	取引先の様子	・最近になり、農機メーカーがコンバインなどの高価な農機を安値で販売するようになってきている。これまで経験したことのない割引率であり、メーカー側の苦境が見受けられる。
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・天候不順などにより、店頭の売行きが良くない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・当社製品の大口価格が下落傾向にある。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が緩やかではあるが減少してきている。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・数社の取引先から仕入価格値上げの案内がきているが、販売価格に転嫁できるか不安である。
悪くなっている				
雇用関連 (東北)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・仕事量が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、3か月連続で前年同月比10%以上の増加率となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・7月の新規求人数の前年同月比は7.8%増加しており、3か月前及び6か月前と比較しても増加している。前年比において、製造業23.5%増加、卸小売業22.6%増加、サービス業47.0%増加と主要産業で大幅に増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月と比較して、新規求職者数、有効求職者数は微減しており、新規求人数並びに月間有効求人数は微増している。また、有効求人倍率はこの1年の間、0.8後半～1.0前半で推移しており、雇用が落ち着いている状況に大きな変化はない。ただし、求職者数の減少に比べて求人数の増加が目立っており、3か月前と比べて明るい印象を受けている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・相変わらず、中堅、中小企業の採用意欲は高い。特に新卒採用においては、大学3年生向けに8～9月のインターンシップを企画しており、来年以降の採用にも力を入れていこうとする企業が非常に増えている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・採用人数を増やす事業所は少なく、一部の継続募集をしている事業所を除いて動きがみられていない。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・派遣求人数は堅調に推移している。ただし、正社員志向の高まりにより案件とのミスマッチが続いている。また、派遣登録者数も低迷が続いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・人手不足感はあるものの、今後の景気動向に不安を感じるため、正規雇用に踏み込めない企業が多い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・求人広告は好調に推移しているが、個人消費が伸びていない。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		それ以外	・求人広告に関しては、期間従業員、タクシーやトラックのドライバー募集などは例年どおりの出稿状況であるものの、それ以外の分野においては動きがみられていない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・不人気業種からの求人は繰り返し出されているものの、他の業種からの求人数は増加していない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月と比較して、求人が減少しているものの、求職者の減少幅がそれ以上のため、有効求人倍率は1.3倍を超えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・労働者派遣業の求人が減少したことで、新規求人数は4か月連続で減少している。また、求職者数も引き続き減少しているものの、求人数の減少幅が大きくなっていることから、有効求人倍率は前年比が2か月連続で減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数は前年同月と比べてもほぼ横ばいである。新規求人数はやや減少傾向にあるが、総じて高止まりの状況であり、変化はない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年と比較して、小幅ながらも有効求人数が減少傾向にある。
		民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・相変わらず非正規社員の雇用が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・登録者数が更に鈍化しており、需要に対しての人材の引当率が低下している。そのため、7月売上が前年比5%減、粗利で前年比9%減となっており、3か月前と比べて状況は悪化している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人数は都市圏集中型になってきており、それ以外の地域との格差が広がっている。オリンピック景気にわく首都圏集中と同じ構図となっており、被災地では求人をする事自体が諦めムードとなりつつある。さらに、就職試験8月解禁と一斉解禁が相まって深刻化している。	
悪くなっている	-	-	-	

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北関東)	良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・今年の夏は大型連休にならなかったため、お盆休みの盛り上がりはなかったが、大河ドラマの話題もあり、来客数は増えている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて、客の動きは変わらないが、客1人が買う量は、今月の方が多い。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・8月は、1年間の中で1～2番のトップシーズンである。前年より数字が伸びてきているが、景気回復が原因ではなく、箱根山噴火や、各地の海岸沿いリゾートでのサメ出没による旅行先の振り替えが、大きな要因の一つだと考えている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・メディアに取り上げられ、天候にも恵まれたこともあり、この夏は例年になく来客数が多く、売上も好調である。
	やや良くなっている	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・前月同様、前年比で販売量、来客数、客単価共に若干ではあるが、上がっている。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・賞与の支給や、お盆の帰省客の影響は大きいものの、良い物や美味しい物の動きは、前年より僅かだが良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・コンビニの場合、7～8月は年間の売上ピークにあたるため、当然3か月前に比べ、伸びている。ただ、8月15日以降は天候不順で気温も下がっており、売上全体が落ちてしまっている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・8月前半は猛暑が続き、季節商材のエアコンが好調に推移したが、お盆明けからは落ち着いた販売となっている。前年に比べ、金額比は116%となり、構成比も高かったことから、8月のけん引力となっている。このほかに前年比100%以上の商材は、冷蔵庫、洗濯機、家事家電品でこれらも好調である。
	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・お盆前までは猛暑が続き、夏物中心に活発な消費となっている。プレミアム付商品券の使用も目立ち、単価の上昇につながっている。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・売上、来客数共に多少減っているが、3か月前に大型チェーン店が出店した割には、減少していない。	
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・5～7月と落ち込んでいたが、8月になり、3軒あるホテルがすべて、若干持ち直している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・夏休みでもあり国内外より、多くの客が来ている。特に鉄道利用の外国人旅行者は多く、国内旅行者を大きく上回っている。猛暑のため、避暑目的の客も堅調である。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量が前月に比較し、増加している。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・新盆や法事の依頼、問い合わせが多数ある。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・都会が猛暑続きのため、涼しい高原への入込が増加している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・1万円で1万2千円の買物ができるプレミアム付商品券は順調に販売されたが、プレミアム部分は消費の先送りであり、売上に変化はなく平常通りである。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・夏のボーナスが7～8月のお盆前までには支給されたと思うが、旧商店街はボーナスの支給に関係なく、人通りが悪くなっており、このまま行くとうなってしまふのかと、日々心配している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・各地でイベント、祭り等が行われ、人の動きが出てきているが、今月も連日の暑さで、客の動きはあまり良くない。プレミアム付商品券が少し動いてきたため、変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・プレミアム付商品券等の利用による商品の動きはあるが、購入の前倒しである。この機会に、必要な物を購入するといった利用が多い。現金のある人はプレミアム付商品券を大量購入している。完売している状況から、使用期間内は多少経済効果はあるとみている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・年間では夏の繁忙期だが、客の消費意欲が、今一つ盛り上がらない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・高額品が売れる一方で、ボリュームゾーン商品、ベースとなる商品の動きが、今一つ悪い。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・夏物セール終盤の動きがやや活発になってきている。最終処分価格となっているにもかかわらず、客のシビアかつ慎重な買回りの傾向がはっきりと出ている。しかも単価が低く、売上にはつながらず、3か月前と比べても変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・主力商品である婦人服の動きが悪い。クリアランスセール、秋の新商品共に厳しい状況である。その他商品群は概ね前年実績で推移している。
		百貨店（店長）	お客様の様子	・客の購入意欲が見受けられない。
		百貨店（副店長）	来客数の動き	・今月は来客数が前年より大きく増えている。ここ数年、来客数の漸減傾向が続いてきたため、このこと自体は喜ばしい。ただ、売上の伸びは来客数の伸びの半分にも届いていない。店内滞留時間も横ばいで、客単価は上がらない。食料品などをはじめとする物価の上昇が家計に対し、明らかにダメージを与えており、節約志向は続いている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・消費を引き締める傾向がみられる。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・お盆までは猛暑で、夏物が好調に推移し、衣料品、食品とも前年比を大きく伸ばしている。中旬以降は一気に堅調な動きに戻り、ハレの日以外での節約志向が顕著である。
		スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・前月、今月と来客数、客単価、買上点数など大きな変化もなく推移している。食料品の値上げが一部にあるものの、変化は見受けられない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・2～3か月前よりは良いが、前年と比べて、まだまだ回復していない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月はキャンペーンや催し物があり、天候も比較的良く、客数が増え売上が若干伸び、やや良くなっている。客の傾向はあまり変わっていない。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車両販売は依然として低迷している。修理に修理を重ね、使用できなくなってから、次の車を考えるという客が多い。様々な物価の上昇に賃金が伴わないため、財布のひもは固い。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・新車販売は相変わらず低位安定である。一方、車検、整備、修理などは確実に入っている。支払についてもローンではなく現金である。また、自動車保険部門の加入保険料単価は下がっているが、件数は増えている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・整備関係の車検等の在庫は順調に入っている。新車、中古車の販売は、3か月前と同じ状態で販売台数が極端に落ちてきている。特に新車等は3か月前と比べ、販売が落ちている。
		乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・暑い日が続き、夏モデルの自動車売上が好調に推移している。夏のボーナスも前年よりやや多く支給され、消費がやや増加したようである。
		自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・3か月前よりは、暑さの関係で、多少修理は発生している。ただ、販売量が3か月前とほぼ変わらず、さっぱり盛り上がりが出てこない。消費意欲が全然上がってこないと実感している。
		住関連専門店 (経営者)	お客様の様子	・プレミアム付商品券利用による消費の拡大が期待されたが、客単価自体にほとんど変化が見られない。売上高がわずかに上昇したが、これは原価上昇に伴う売価の上昇に起因するもので、買上点数自体は横ばいである。
		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・月初からお盆まで晴天が続き、扇風機、すだれ、レジャー用品など、季節商材が好調だったが、その後売上は後退している。天候による要因を除けば、大きな変化は感じられない。
		その他専門店 [燃料](従業員)	販売量の動き	・燃料の使用量はほぼ変わりなく推移している。
		観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・来客の動きは回復傾向であるが、浅間山の噴火以来、販売の伸びが止まっている。そのため、差し引きゼロで、景気は変わらない。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・8月は、良い時と悪い時の差が非常に大きく、特にお盆時期は、レストランに関しては非常に良いが、地元企業の客が非常に少なく、宴会部門はゼロという日も結構あった。8月は大変難しい時期である。
		都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・8月はホテルの最盛期となるが、今年もほぼ例年通りの売上、販売量で推移している。突出した数値ではないが、各種スポーツ団体、ファミリー客等も好調な中で、インバウンドの動きが鈍く、予約は入るものの催行率が落ちてきていることが気がかりである。総合的に判断すると、変わらない。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・客足が伸びてこない。
		旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・世界株安による影響かは不明だが、企業の海外渡航は減少気味である。夏休みであり、国内旅行は個人旅行が伸び、海外旅行も受注が多い。ただ、一般的にみると景気の動向はほぼ横ばいである。
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・今月半ばより、昼も夜も動きが悪くなり、前年同月と比べ、4%の減少である。
		タクシー(役員)	お客様の様子	・地元の中小企業は業種によってかなりの差があり、大きな動きはない。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・テレビやエアコンを1台売れば数万円の利益があった時代から、現在では数千円の利益である。その分、10倍も20倍も販売数が出ているかと言えば、むしろ人口減で付け替え需要くらいである。これで給与をいかに上げればよいのか。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・節約志向が強まり、ケーブルテレビを解約し、アンテナ受信に切り替える家庭が増えてきている。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・お盆休み、夏季休暇も一段落し、旅行等で生じた出費の影響もあり、しばらくの間は消費を抑制する状況である。特に悪化する要因は無いため、ほぼ横ばいとみている。
		通信会社(局長)	お客様の様子	・景気が良いと感じる、加入増加等のような大きな動きはない。
		遊園地(職員)	来客数の動き	・3か月前と今月の数字を比べると、確かに夏季繁忙期による来客の増加はあるが、推移はあくまで前年と変わらない。
		ゴルフ練習場 (経営者)	単価の動き	・商品の価格に敏感である。
		ゴルフ場(支配人)	お客様の様子	・高齢者や女性の比率が高いゴルフ場のため、猛暑続きで、来客数は伸びない。隣県への営業も試みるが、伸びない。
		競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、あまり変化がない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・来客数は若干上向きだが、単価は横ばいである。また、先日発行されたプレミアム付商品券等を使う客に関して利用の仕方が限定的で、高額商品を購入するのではなく、日用品の買い回りが増えている。そのためプラスにはならず、変わらない。
		その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・参加人数、宿泊者等も変わらず横ばいである。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・仕事量は少ないままで変わらず、元々あった仕事も徐々に完了してきている。
		設計事務所(所長)	来客数の動き	・3か月前と比べ、全く変化がなく低迷している。来客数も少ない。
		住宅販売会社 (経営者)	それ以外	・土地等について、動き、問い合わせ等がほとんどない。ただし、競売物件のような価格の低い物件には、かなり人数が集まるようである。一般的な価格のものでは、客が目もくれない状況である。貸家の方も、入居の問い合わせ等は相変わらず、少ない。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・高温注意報が発令されると、同時に不用な外出は避けましょうと放送される。元々少ない入出が、より一層少なくなってしまう、売上にも悪影響となっている。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・お盆までは、来客と共にランドセルがぼつぼつ売れていたが、お盆明けは全く静かになった。高額商品は、孫を連れて祖父母と一緒に来るが、今年は極端に少ない。
		一般小売店[青果] (店長)	来客数の動き	・7月後半から8月前半は暑さが厳しく、8月半ば過ぎからは、寒すぎるほどの気温となり、雨も多く日照不足で野菜が値上がりし、買いにくくなっている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・客は値段の安い物は、しっかりと購入するが、単価の高い物やぜいたく品には手を出さなくなっている。
		衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・暑すぎた夏から一転し、下旬になると秋を通り越したような涼しさ、寒さが来てしまっている。涼しくなっても客は出てこない。身の回りの商品の値上がりが続いており、それがじんわりと響いてきているような気がする。まだまだ辛い雰囲気が続く。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・例年8月は夏休みもあるため、販売は低調である。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車の販売台数は、ここ数か月悪い。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・客の様子をみると、追加注文やドリンク、アルコール類などの注文がほとんどないので、なかなか売上が上がらず、客単価も上がらない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・8月のお盆明けから動きが非常に悪く、休みの多い9月には平日の動きが一層悪くなりそうである。
		一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・同業他社の店を複数訪問したが、多くの店が来客数の減少に悩んでおり、中には極めて厳しい状況のところもあった。そうした中、大手外食チェーンの出店は続いており、限られたパイを奪い合う競争が一層激化してきている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・6月以降だんだん悪くなってきている。フリーの客は落ち込んだままで、8月は宴会数がかなり少ない。明るいニュースが少ないと元気が出ない。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・8月はお盆ということもあるかも知れないが、客の動きは、都会に向かったのではないか。また、全国の統計を見ても本当に、良いという回答はあまりみえない。地方はますます大変である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・お盆の時期は少し動きがあるが、夏休みや帰省でお金を使ったため、お盆明けは出費を控えているようである。街中は、ひっそりしており歩いている人がいない。タクシー利用客は、ますます減少している。
		タクシー運転手	単価の動き	・前年比は、100%とほぼ同程度なのだが、やはり単価の動きが悪い。
		通信会社(社員)	お客様の様子	・維持費を安く抑える工夫に関心を持つ客が、増えてきている。
		ゴルフ場(総務部長)	来客数の動き	・入場者の予約状況について、3か月前は前年をやや上回っていたが、8月下旬は前年を下回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	美容室（経営者）	それ以外	・猛暑の中、単価、乗客数共に減少している。同業者と、全体的に商圏人口が減少しているのではないかと話している。また、好調なのは宿泊施設で、外国人観光客が多く宿泊しており、常に満室で良い状態が続いていると聞いている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・地方では、お盆休みを8月にとることが多い。お盆前の客足は良かったものの、16日以降の売上は大変悪い。季節や行事に左右されることが多い職種である。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・一般客の動きがかなり鈍い。急ぎの客以外は、問い合わせがゼロに近い。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・8月29日、30日に地元の商店連合会で、売り出し抽選会を開催した。抽選会場の人出はあったが、店頭販売が思うように伸びていないので、あまり良い状況ではないと感じる。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・地方では小規模物販業の低迷が特に著しく、広報費とは無縁である。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候不良に加え冷夏のため、かき氷、アイス類の夏季商材の売上や、来客数がともに激減している。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・この2か月情報もないが、売上もゼロである。
企業動向 関連 (北関東)	良くなっている	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・国産ぶどう100%のワイン人気は、関係者の間で高まっており、国内出荷、輸出共に順調に伸びて、前年を上回る実績を上げている。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・2か月の在庫調整が終わり、取引先からの受注が増えている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・2～3か月前と比べるとまずまずであり、7～8月は前年よりもやや良くなっている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先である、国内自動車メーカーの輸出が増加傾向である。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品を特別に改良し納品するため、販売価格が上がっている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・取引先の製造業をみると、受注量が徐々に増えているようである。また、小売業も以前に比べ売上の改善がみられる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が増加傾向にある。上期末に向けた要因もあり、一時的な増加と思われる。
	変わらない	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・8月前半は天気も良く好調だったが、後半天気が悪く、結果はトントンで終わりそうである。
		化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・主力製品に予定外のスポット受注があり、受注減が多少緩和されたものの、減少傾向は変わらない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特別注文品の受注はあったものの、店頭販売商品の受注がほとんどない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず、低調に推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・にっばちは駄目と言うが、とにかく8月の受注量が前年と比べても、4割程度落ちて仕事が激減してしまっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・多種少量の生産は続いている。相変わらず下請企業に対するコスト下げは厳しく、苦しい経営状態が持続している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・当社では現在フル生産しているが、取引先の様子等を聞くと、決して景気は良くなっていない。
建設業（開発担当）		受注量や販売量の動き	・現政権のもと、公共工事中心に発注額が増加していたが、こここのところ、頭打ちになってきている。前年と比べ、同程度であり、前々年と比べても10%増で、大変ありがたいが、長年続いた不況業種のため、今後の受注増は難しい。現状は厳しいが、さらなる経営努力が急務である。	
金融業（調査担当）	取引先の様子	・景気の足踏みが続き、企業業績もまだら模様の状況が続いている。		
金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・パイが増えない中での過当競争になっており、なかなか利益を上げられない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・資材の値上がり分をなかなか受注価格に上乗せできず、既存の契約分は利益が減っている。多少新規受注が増えても利益が打ち消されてしまう。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・夏の販促活動が停滞している。飲食店、物販店共に、客の入りが厳しいようで、広告宣伝費を渋っている。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・スタート時点では好調だった、プレミアム付商品券の利用が鈍っている。これは一部業種に限らず全般的な傾向のようである。また、今月は前半の好調さに比べ、後半は一転して悪く、お盆明けは雨が多く気温も下がり、8月でも秋のような天候が大きく影響していると、量販店の店長が話している。チラシ出稿量は前年並みである。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・各業種を通じ、総体的に業績の大きな変化は認められない。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・8月は休みの多い月であるが、それだけでなく、低いところで安定してしまっている。
		社会保険労務士	取引先の様子	・賃上げや賞与支給はひととおり終了したが、消費税引上げ後から、あまり変化はなく回復基調にはない。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月に入り受注量が全く伸びず、苦戦している。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月は卸、小売とも前月比、前年比共に売上減である。秋冬物の受注を目指す大規模な宝飾展示会も、中国の大幅な株安、台風の影響などにより、中国からの客が減少した上、国内の客の買い控えもあり売上が減少している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・民間の動きも悪いが、特に今年は公共工事の発注が遅い。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・猛暑により、夏場商材のエアコン、飲料水等の動きは良かったが、お盆明けの台風等により気温も下がり、全体的に落ち込み、前年比をやや下回っている。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・空室が多くなっている。
雇用関連 (北関東)	悪くなっている			
	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・夏の暑さで麺類の製造派遣に増員があり、やや良くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業の求人が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が、6～7月共に前年比マイナスであったが、今月は前年比プラスとなっている。一方、新規求職者数は、6～8月共にマイナスとなり、有効求人倍率に反映され今月は1倍を超え、1.02倍となっている。このことから、事業所における雇用の動きがあるとみられる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・高校生の求人ははじめ、求人数は例年に比べ多くなっている。また、企業の人事担当者も積極的に良い人材を確保しようとしているようである。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・建設関連のうち、土木部分はかなり減っているのではないかと。一般的に建築業界は、まだ低迷のようである。また、自動車関連の自動車部品、カーナビ、携帯電話等の電子部品、これらの業種に関しては求人数をみても比較的多い。また、サービス業における介護職等の福祉関連は非常に多い。周辺企業の様子から夏物衣料等は思ったより振るわなかったように見受けられる。
		人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・職業紹介や紹介予定派遣等についての不満がほぼなくなり、紹介手数料35%前後で契約できている。一方で、人材がいるかどうかの方が問題になっており、引き続き企業の採用意欲は高いと感じる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・人材派遣会社による製造業の募集は、多少増えているものの、応募者が少ない。求人募集はハローワークに依頼している企業が多く、有料求人紙に掲載してまで募集することは少ない。全般的に求人広告の売上は前年と比べて、減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・依然として小売業、サービス業を中心に人手不足による新規求人の増加傾向は続いている。事業所の求人意欲は旺盛である。ただ、製造業を中心とした派遣求人や、臨時求人が増加し、安定した正社員を希望する求職者とギャップがあるため、求職者の慎重な動きがみられる。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・有効求人倍率は良い方向にあるものの、求職者の多くが希望する正社員の求人は低迷している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	それ以外	・8月はお盆が終わってから急に仕事が少ない、50人近くの仕事が無くなった。株安の影響があるのかとみている。
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・労働者派遣法が国会審議中でもあり、人材派遣業界は慌ただしい。
	悪くなっている			

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (南関東)	良くなっている	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・近隣の競合店が改装工事で閉店しているため、良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温がまだ上昇気味で、非常に暑さを感じる。特に、コンビニでは暑さが影響して、飲み物や付属する商品が多く出る。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・経費は上がっているものの、落ちても上がってもいい。街では売れていないようなので、何とも言い難い。
	やや良くなっている	一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・商品の仕入単価が上がったため売上は上がったが、実際の数量は前年より減っている。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・暑さのせいエアコンがよく動いている。ただし、安価な物が多い。夏本番になると安価な商品のウエイトが高くなるが、今年の夏は安価な物ばかりが動いている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑でエアコンなどの夏物がよく売れた。ただし、それ以外の物はあまり売れていない。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	単価の動き	・単価のやや高い筆記具を中心に客が購入している。また、1人当たりの購入点数が多くなってきている。
		百貨店（広報担当）	お客様の様子	・高額品の売上が伸びており、毎年この時期に実施している高級時計の販売会では速報値ベースではあるが、近年で最高の売上が見込まれている。また、インバウンド関係でも化粧品を中心とした売上が好調で、前年比2.5倍以上の伸びがみられる。ただし、主力の衣料品の売上が前年を割り込んでおり、商材別では手放しで好調といえる状況にはない。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・化粧品を含む服飾雑貨等が好調であり、食料品はほぼ横ばいである。婦人アパレルの復調により、全般的に単価が上がり、前年比4ポイント増と好調である。一方、購買点数が若干前年に届いていない。免税売上額はこのところ増加の一途であり、売上増の要因となっている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・来客数が伸びているが前年がない動きとして、夏セールが後ろ倒しだった対策として定価強化をしていたが、その流れをくんで定価商材を前年より前倒しで投入したところ、在庫がしっかりあったということもあるが、トレンドアイテムや今買わないとなくなるという理由で高額のムートンやダウン、レザーなどに動きが多くみられる。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・数量、客単価共に3か月前と比較して前年比で増加している。消費税増税に伴う駆け込み需要及び反動減の影響の少ない2013年と比較してもほぼ同様の数字となっている。
		スーパー（仕入担当）	単価の動き	・今月は前年に比べて気温が高く、アイス、飲料、麺類等の夏向け商材の動向が良い。青果物も品質は安定しないが、相場高で前年を大きく上回っている。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・観光地に近く、中国人の来店が多い店舗だが、今月から減ったように感じる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・天候要因が大きく、行楽など外出する機会が増えていることが来客数の増加につながっており、回復傾向にある。
		家電量販店（統括）	それ以外	・天候の影響で夏物商戦が好調である。それ以外では目立った伸びはみられないが、中国を中心としたインバウンド需要のプラス分が他部門をカバーし、全体の実績を押し上げている。
		家電量販店（経営企画担当）	販売量の動き	・7月からの猛暑が続いて8月の前半は季節家電の動きは好調だったが、お盆をはさんで気温が下がり、季節家電の動きが止まった感がある。心配な点がないわけではないが、人民元の切り下げによるインバウンド需要への影響はまだない。
		乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・客の動きが幾分活発化してきている。
		その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	販売量の動き	・夏季商戦の国内売上は久しぶりに前年を上回る結果となっている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・前年に比べて全般的に専門店の売上が好調である。業種としては映画、ファミリー衣料が好調である。元々前年はやや悪かったが、前々年の水準に戻ってきている感じがある。来客数も前年より増えている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・今年は猛暑の影響で7月からのうなぎの売上も良く、お盆も忙しかった。地方も忙しかったようだが、当店はお盆が明けてからも底堅い個人消費の客という感じで来客数が増えている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・前年と同じ高単価商品を季節メニューで投入しているが、注文数が増えている。領収書を切らない人の会計金額も上がっている。
		都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・稼働率が依然高い水準を維持している。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・夏休みの個人旅行が増大し、予算も上がっている。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・夏から秋に向けての申込状況が良い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月はお盆休みがあったものの、昼間の利用が非常に良く、短い距離の客もかなり多い。回数、売上共に伸びてきている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新規にCATVサービスを導入する大型案件が決まり、販売量は前年よりも大きく増加している。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・余暇の過ごし方として付加価値をつけて消費する傾向が感じられる。テニスをはじめとする日本中が注目するスポーツコンテンツについては大変な好況で、良いものにはお金を払うように感じられる。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・8月の販売量は目標数字の約120%となり、良いと判断してもよいが、6～7月の販売量が大変悪く、8月へずれ込んだため、やや良くなっているという判断である。3か月前と比べても同様である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築売りアパートは順調に契約ができ、良い方向に向かっている。ただし、仕入業者の増加及び土地価格の高騰により、なかなか仕入ができない状態になってきている。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・良くなるかとみていると動きが止まってしまう。大企業も締め付けがある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街を通る客量は若干減っているようにも思うが、それほど変わらない。ただし、客の様子は非常に慎重になっている。プレミアム付商品券が発行されたことでやや良い面も出てきているのではないかと。8月はプレミアム付商品券の影響で、数字を落とさずに済んでいる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・最近の暑さなどから客の動きが悪くなっている。特に、年配客の動きが悪いことが、我々の商売には大きな打撃になる。涼しくなって高齢者が動きやすくなってきたが、天候が悪いために思うようにいかない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・猛暑や集中豪雨、または当店の商品に魅力がないのか購買意欲が低下しており、非常に悩んでいる。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・夏のイベント、祭礼が多い。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	お客様の様子	・買物の流れをみても、購買意欲が欠けているような気がする。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔文具〕(販売企画担当)	販売量の動き	・店頭においての来客数及び商品の売上、また、外商における物件数等も、急激に伸びるということもなければ減るといったこともない状況が続いている。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	販売量の動き	・中旬まではギフト需要もあり良好だったが、下旬から客単価が下がり、前年並みの売上になっている。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・中間所得層の来客数、購買客数が前年比97%と落ち込んでいる。原料高、円安の影響で商品単価が上がってきているのも原因である。特に、衣料品の売上が大きく落ち込んでいる。
		百貨店(総務担当)	販売量の動き	・こここのところ幾分涼しくなったが、来店する客は目的以外の商品への購買意欲がなく、買上率は低下している。
		百貨店(総務担当)	販売量の動き	・株価下落の影響で消費マインドが下降しつつあるように思える。消費者心理として、高額品等の不要不急の消費は控える傾向にある。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・物価上昇に給与が追いついておらず、婦人服に回す金額が少なくなっている。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・消費者のクリアランスに対する価値観の変化により、夏物ファッションのセール購買量が減っている。一方で、高額品の購買は依然として好調であり、この現象は続いている。
		百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・外国人客による売上に支えられているところが大きく、今後の状況は不透明である。
		百貨店(店長)	販売量の動き	・今月は中国の株価下落や天候不順などによりムードが低下したため、その影響を受けている。
		百貨店(営業企画担当)	お客様の様子	・インバウンドや富裕層は依然として堅調だが、中間層の客の消費が戻ってきていない。
		百貨店(副店長)	お客様の様子	・8月上旬の猛暑から20日以降急に涼しくなる等、天候に左右された部分はあるものの、ここ3か月の客の消費動向に大きな変化は感じられない。猛暑の影響が化粧品やUV関連商材の動きは良かったが、婦人服衣料は引き続き厳しい。
		スーパー(販売担当)	お客様の様子	・客の様子をみていると、ポイント何倍の日や買得商品を打ち出している広告初日、店ごとの特典のある日を利用してうまく買い回りをしている状況が多くみられる。
		スーパー(経営者)	来客数の動き	・やや悪いと回答したが、競合店ができた影響があるため、その分少し悪くなっている。それがなければ、変わらないか、やや良いくらいである。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数が前年比98%であるものの、点数、単価は前年並みである。売上予算が未達ではあるが、3か月前と比べて数字的には大きく変わっていない。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・来客数の微減は続いており、値上げ分の単価の上昇で売上は何とか支えられている状況である。全体的な物量は増えてきていないため、依然として消費には慎重な状況が続いている。
		スーパー(総務担当)	お客様の様子	・前年に比べて4月の改装以来、約7~10%来客数が伸びているが、1人当たりの買上点数は3%ほど下回っている。また、単価は若干上向いているので、売上自体としては上がっているが、今年の暑さでもっと売上が伸びなければいけないところ、今一つ伸びていないので、客の買上動向が分からないような状況である。
		スーパー(営業担当)	販売量の動き	・猛暑の影響で夏物商材の動きが活発である。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・8月前半は猛暑で売上は1割以上伸びていたが、後半に入り肌寒くなると、前半の貯金を使い果たし、気温に左右される状態が続いている。
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・天候の急変もあり、前半は飲料水、アイスクリームの売上が伸びていたが、後半は一転して温かい麺類やおでんの販売が増加している。総じて売上、来客数共に変化はない。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・今年の夏は猛暑だったせいか、来客数は前年を何とか維持できたが、客単価が若干落ちている。この傾向は続いており、何とか客に来店してもらい、なおかつ買上点数が増えるように努力しているが、客が求めているのは単価が低いリーズナブルな商品である。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・天候不順が続いており、客足が多かったり少なかったりと、不安定である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ショッピングモールに出店している店舗があるが、ここ数か月で数店のテナントが閉店したので、景気が良くなっているとは思えない。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・8月前半は好天に恵まれ、飲料、アイスクリームなどの季節商材の販売が好調である。ただし、トレンドを大きく変えるまでには至っていない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客の購買に対する大きな盛り上がりもなく、暑さでこのまま終わりそうである。どうすれば集客できるか悩んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・20日までの売上は前年比10%増だったが、下旬は雨と台風と秋風で減少している。8月の最終的な前年比はプラスマイナスゼロである。
		衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・買い求める商品の価値以上に価格が買得になっていないと、なかなか商品に手が届かない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車の整備は順調に入ってきているが、販売があまり芳しくない。前年度の3割減となっている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来月、半期の決算を迎えるが、ユーザーの動きが悪く、期待が薄い。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・景気の良い客と悪い客の差がある。昔は業界全体が潤っていたが、今は客のニーズをつかみ、しっかりと営業している店は仕事が忙しく、従来ながらのやり方の店はなかなか潤っていない。全体的には景気は良い方向だが、先月とほとんど変わらない。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	販売量の動き	・天候や季節によって売れ方に変動があり、今年は暑いので、夏バテ商材の動きが良い。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	販売量の動き	・プレミアム付商品券が発行されたので、売上としては変わらないが、いくらか良いような感じがする。
		高級レストラン（副支配人）	来客数の動き	・新装オープンに関係もあり、純粋な景気判断は難しいが、オープンしてから約半年が経過し、宴会予約の客数など、徐々に平常時に戻りつつある。
		高級レストラン（仕入担当）	単価の動き	・販売量は前年より増えているものの、全体として単価を上げられるほどの勢いがまだない。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・今まで少なかった昼間の予約が増えている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・前年比でみて、3か月前の5月1～25日までの売上は103.0%、来客数99.1%であった。今月は、1～30日までの売上が108.0%、来客数102.5%という結果である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・それほど期待はしていなかったが、プレミアム付商品券で食事に来る客が多いことに驚いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・夏休みということもあり、宿泊については変わらず高稼働が続いているが、宴会やレストランといったその他の部門は法人、個人の利用が共に低調で、特に、法人利用の接待はほとんどなく、全般的に景気が上向している実感はない。この状態は消費税増税後から続いており、3か月前と比べても何も変わっていない。
		旅行代理店（販売促進担当）	販売量の動き	・法人関係では国内は例年並みだが、海外がなかなか良くなってこないし、団体の旅行が発生しない。また、今月はバンコクの爆破事件で不安があるため、海外団体は影響を受けて厳しい。当社においても何件かキャンセルが出ており、9月以降についても見合わせるという話を聞いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・最近の大手企業の景況感がよく分からなくなってきている。以前のように不景気は特に感じないが、好景気とも感じない。タクシーに関しては夜は駄目で昼間の営業が好調であるということに変わりはない。
		タクシー（経営者）	単価の動き	・一時よりは良くなっているように感じるものの、単価は上がっているが、来客数が減少している。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・テレビの新規加入は予算を超えているが、インターネットと固定電話及び携帯電話のセット販売の獲得が予算を下回る状況が続いている。営業職の採用が厳しく、各店とも予算人員を下回っているのも主な要因となっている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・契約数は計画以上になっているが、客単価は下がったままである。
		通信会社（社員）	お客様の様子	・大きな変動は現時点ではない。今年に入ってから月次目標を毎月達成できている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の収入が増加していないため、支出を減らすことを意識した消費を行っているように感じる。契約するプランも低価格サービスで他社よりも安く抑えられる商品、またはお得感のあるセット割引付のサービスに人気がある。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・契約量、売れ筋の価格帯が横ばいにある。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・ケーブルテレビ業界においてはやや販売量は上向いているものの、ARPU（通信事業における顧客1人当たりの平均売上高）については横ばいが続いている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規加入及びコース変更の動向からは変化は感じられない。相変わらず必要最低限でのコース選択が多く、趣味に割く費用は抑えようとの意識を感じる。
		通信会社（経営企画担当）	お客様の様子	・客からの新規商談に変化がない。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今年の夏季来場者も例年どおり予定数を確保できている。
		その他サービス [保険代理店]（経営者）	来客数の動き	・全般的に変化がなく、新規客もそれほど変わらない。夏場は1年を通して売上等の増加はない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・現在の仕事量は、3か月前と比べても変わらない。
		設計事務所（職員）	それ以外	・相変わらずの平行線である。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・当社は住宅を主に扱う不動産デベロッパー業と総合建設業だが、昨年4月の消費税増税以降、全く販売量が伸びない。オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックの時よりもひどい状態が続いている。消費者は所得が増えていないところに増税の影響を直接受けているようである。一方、総合建設業では工事原価が高騰しているにもかかわらず公共工事の発注単価が非常に低く、工事量は沢山あるが、利益が出ない状態が続いている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注状況全体では前年比10%近く良くなっている。前年の消費税増税前の駆け込み受注の反動減という最悪状態を考えると、まだ厳しい。特に、戸建住宅が厳しく、集合賃貸住宅は前年より大幅に伸びている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・契約数は例年と変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・戸建住宅部門は好調を維持しているが、土地の有効活用部門は前年比でマイナスが続いており、全体としてみれば変わらない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・ここにきて中国の景気減速の影響か、株価が下がり、景気減速とまではいかないが、これまで伸びてきた勢いがなくなり、停滞感が出てきた。来街者、クレジットカードの取扱高も8月の前半までは良かっただけに、後半の失速は意外である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・連日の高温による販売量、来客数の減少が下振れに影響している。また、近隣での中型スーパーの新規出店により、かつての大型ショッピングモールの平日の客足が激減し、小さな商圈でパイを奪い合う過当競争の様相が著しくなっている。
		一般小売店 [家具]（経営者）	販売量の動き	・3か月前から比べると来客数、販売量共に若干落ちている。消費税が8%になってから来客数が少なくなっている。景気が落ち込んでいるような気がする。
		一般小売店 [茶]（営業担当）	販売量の動き	・個人用のお茶の販売量は変わらないが、単価は少し良い物を購入しようとする客が増えてきている。一方、会社用のお茶の前年同月の売上は下降が続いている。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・天候不順なども重なり、来客数が微減している。買い回りも厳しく、必要ない物は購入しない節約傾向が続いている。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・インパウンド以外のファッションの動きが鈍い状態が続いている。来客数が減ってはいるものの、単価が上昇傾向にあるため、結果として何とか維持できている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・客の買物の単価、来店回数が減ってきている。以前よりも高額品が売れていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・トータルでの金額が少なくなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きと販売動向、また、周りの状況から判断して、やや悪くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・猛暑のため来客数が少なく、売上は前年に比べ8%減少している。また、近隣の婦人服店が2店舗閉店するなど、厳しい状況が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前年の同時期に比べて来客数と販売量共に減少している。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・販売台数の伸び率も低迷しているので、先行きが不安である。
		住関連専門店（統括）	販売量の動き	・来客数が伸び悩み、それに伴って販売量、販売額も伸び悩んでいる。
		その他小売【ショッピングセンター】（統括）	販売量の動き	・各企業が過剰在庫を恐れ、生産調整を行っているようである。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・売上は3か月前と比べ、10～15%程度落ちている。8月は飲食業界で一番暇な時期のため、仕方がない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客が減っており、来客数が伸びない。様々な情勢も考えられ、営業努力が足りない部分もあるが、景気だけのせいではないと思っている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の会話を聞いていて、景気が良くなって給料が上がったという話は一切ない。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・今年は特別に暑いせいか、客の出足が鈍っている。また、インターネットで予約等をすることが多いようで、なかなか販売量に結び付かない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・団体旅行の見積り件数や問い合わせの電話本数が減っている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前年同期比95%で推移している。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・中国を発端とする世界株安による影響からか、単価が上がらない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は前半猛暑が続き、また、お盆の帰省、暑中休暇などでタクシー利用が少ない。後半は秋の気配が漂って雨の日が続き、株安関連での景気低迷からかタクシー利用が少なく、昔から言われているニッパチで景気が良くない。
		タクシー（団体役員）	来客数の動き	・現在のやや上向きの要因は猛暑によるものであり、今後も継続するとは思わない。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・営業案件の決済が遅くなっている。
		通信会社（総務担当）	単価の動き	・日常の食料品購入時の輸入品価格が微妙に上昇しており、買い控え等で景気にはマイナスとなっている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・今月は夏休みということで来客数を期待したが、3か月前の5月はゴールデンウィークもあって繁忙期だったため、それには及んでいない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・最近の夏の暑さはゴルフをするどころではない。それにしてもお盆も含め、来場者数は少なく、景気は下降気味である。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・夏場の暑さとも相まって、個人の実質所得の目減り等で来客数が若干減少傾向にある。
		パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・朝は以前と変わらないが、夜の時間帯、特に7～8時の仕事を終えて来店するサラリーマンの数が若干減っているような感じを受ける。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・プレミアム付商品券が発売された割に動きが鈍いような気がする。
		その他サービス【福祉輸送】（経営者）	来客数の動き	・長期の休暇があったとはいえ、休み前の反応から今一つ進まない。暑さもあって外出を控えているのかもかもしれないが、大分前と比べて客の動きが悪い。
		設計事務所（経営者）	それ以外	・当社は行政業務への入札により、月々の売上が決まっている。耐震診断案件がある時は、仕事がやり切れないほどあったが、現在は入札単価が非常に低くなっている。多くの業者で価格を競うため、低価格で入札される傾向にある。そのため、仕事量を回ることができず、仕事の少なさを感じている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・官民にかかわらず案件数が減少している。民間は消費税増税以降、低空飛行が続いている。官庁案件の受注は運頼みの要素が強く、非常に不安定である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・新年度が始まって既に5か月になるが、民間の動きはほとんど止まっている。そのうえ、行政業務も発注物件が前年の3分の1くらいに少なくなっており、先行きが厳しい。下期の発注に期待したい。
		設計事務所(所長)	競争相手の様子	・仕事があるようでないというのが実感である。改修や耐震補強が多く、新築物件が非常に少ない。
		その他住宅[住宅資材](営業)	販売量の動き	・建築資材の需要低迷が続いている。また、材料関係全体で荷動きが活発ではなく、先行きが良くなると見込めない。
	悪くなっている	一般小売店[和菓子](経営者)	来客数の動き	・連日の猛暑で来客数が激減してしまい、売上が減少している。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・7月からの猛暑で外出を控えた客が多い。また、旅行や帰省する人は多く、道路も混んでいたが、衣料品にはお金をかけなくなっている。来客数は前年に比べ20%弱落ち込んでいる。
		衣料品専門店(営業担当)	販売量の動き	・お盆前から急に涼しくなり、夏物の動きが止まってしまうている。街に人出もなく、売上が大変厳しくなっている。このまま商売を続けていくのが不安になる夏である。前年比も85%と2けた落ちている。
		その他小売[生鮮魚介卸売](営業)	お客様の様子	・回答理由としては、1の来客数の動き～5の競争相手の様子まですべてが当てはまるが、特に4の客の様子とした。
		タクシー運転手	来客数の動き	・深夜になると人が極端になくなる。
設計事務所(所長)	お客様の様子	・打ち合わせはかなり行っているが、客が一步踏み出せず、契約には至らない。世の中で足を引っ張っている何かがあるのではないかという感じがする。		
企業動向関連 (南関東)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業(営業統括)	受注量や販売量の動き	・好天に恵まれる日が多く、それに合わせて飲料を柱に販売が上がっている。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・例年8月は落ち込むが、そういうこともなく、例年よりも忙しい月である。会社設立印の発注が8本あった。また、個人経営者が株式会社化するための発注や、事業拡大による社名変更というような場合もある。これらの客は通常1本でよい印鑑を、1つの会社でそれぞれ3本種類を変えて注文しており、客が資金的に少し余裕ができたと感じている。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注が順調に進んでいる。逆に手が一杯で断っている状況である。4月決算だが、今期についてはほぼクリアしている。
		輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・工作機械の輸送受注が多く、年内は稼働状況が良い。
		通信業(広報担当)	受注量や販売量の動き	・前月から目に見えて良くなってきている。
		不動産業(経営者)	それ以外	・しばらく空室だったところに入居が決まった。エレベーターがなく、利便性が良くないところである、近隣のテナントビルも空室が少なくなってきた。
		不動産業(総務担当)	取引先の様子	・所有するオフィスビルが約6年ぶりに満室になり、賃貸料の値上げも期待できる状況になっている。
		広告代理店(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年度にはなかった、かなり昔からの懸案案件を実現できたため、やや良いというレベルに到達している。
		その他サービス業[警備](経営者)	取引先の様子	・受注は来ているが警備員の確保ができず、売上を伸ばすチャンスなのに思うように売上増に結び付かない。
		その他サービス業[ソフト開発](従業員)	取引先の様子	・一時的なのかどうか分からないが、取引先からの依頼が落ち着いたような気がする。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・一進一退である。
		食料品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・帰省土産の客単価が下がっている。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・会社ごとに売上の増減があるものの、総体的には差引ゼロで変わらない。
出版・印刷・同関連産業(経営者)		それ以外	・インターネットの普及により安価なものを客が直接購入しやすくなってきているため、受注自体も減少傾向になってきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部商品は動いているが、それ以外の一般商品は、動きがほとんど変わらず芳しくない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同期に比べ、どの客も軒並み2～3割程度の減少が続く、赤字から脱却できずに苦しんでいる。どの業界も消費税増税の影響がぬぐい切れていないようである。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新規の客先は納期が短く、価格も安く、忙しい割に利益が上がらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量がある程度確保されても単価が安いので、利益が出ない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中国経済の挫折が、世界経済に冷や水を浴びせる様相を呈し、更にリーマンショック以来の株価下落で世界的な不況に突入するのではないかと心配している。株が下がればあらゆる面で経済に悪い影響を与え、売上にも大きく響く。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子だが、ここへきてかなり活気付いているという印象である。小売店の動きも好調を維持しているようである。ただし、材料屋はその反対で、他では景気が悪いと話しているので、格差があるようである。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品が思った価格で売れない。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・中小企業レベルでは、景気回復はまだである。
		建設業（従業員）	取引先の様子	・客との交渉がうまくいっていない。
		建設業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・昨今、平均株価が下がり始め、客は値下げを期待しているが、さほど建設資材に影響が出ておらず、全体コストが大きくは変わらない。
		建設業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・入札案件が少なくなってきたり、先日も入札が不調になった。発注者側の予算が足りず、やりたい気持ちはあるようだが、収支を考えると予算額を上げられないようで、今の建設資金の上昇に追い付いてきていない。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏期休暇による稼働日数の減少や異常な暑さの影響により、取扱量が平均を下回って売上が落ち込んでいる。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・チャーター部門の低調さは変わらず、改善の兆しがみえない。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・住宅建材、鉄鋼関係のメーカー共に出荷量は前年より低迷している。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・季節的にも天候的にも荷量に変化はみられず、相変わらず低迷している。
		金融業（統括）	取引先の様子	・特別にマインド的にも上がっているようにみえないし、受注もそれほど変わっていないようである。
		金融業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の製造業の受注等の様子だが、ここ2～3か月と変わらず、先行きの見通しもそれほど増えるということも減るといったこともないので、変わらない。不動産建売業は、やや在庫がはけてきたが、その後、受注の様子見で少し抑えているようなところがみえる。小売業はプレミアム付商品券が出ているが、さほど売上が上がっていないところを考えると、景気が良くなっているとは思えない。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・駅から徒歩10分のRC造り8階建てマンション、5月末完成45戸は、先月から更に4戸決まったが、34戸がまだ申込に至っていない。しかも今月から広告費が300%の募集になっている。また、当社の管理物件2K79,000円の物件も空室のままである。厳しい状況が続いている。
		広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・クライアントからの相談は減ってはいないが、宣伝費、販売促進費の削減が相次いでいる。
		税理士	それ以外	・夜に最寄駅まで商店街を通っている。飲食店を外から歩きながら見ているが、やはり人があまり入っていない。ただし、以前より少しは良くなっているかもしれない。
		社会保険労務士	取引先の様子	・資金繰りの厳しい会社はまだ見受けられる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・飲食店等では猛暑の影響などもあり、比較的好調のようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		税理士	取引先の様子	・ここ数日の株安は大変な不安材料である。明るい話題が探せないのでも良くなるとは思えないが、中国問題が長引くとも思わないので変わらない方向と考えている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・駅前のレストラン店主は、「客足は落ちていないし、売上も水準をほぼ維持している。ただし、採算が悪くなってきている。食材の仕入値が上がっているため、メニュー価格を上げたいが、ファーストフード店の値上げ結果をみていると、怖くて容易に踏みきれない。このような状態が続いている」と話している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・機械加工、金属加工、組立等の中小企業では、前年、前々年と比べても売上の上昇はわずかで、大企業のような景気ではない。
		その他サービス業[ビルメンテナンス](経営者)	受注量や販売量の動き	・既存契約及び解約、減額、新規契約もほぼ落ち着いてきた感がある。人手不足は相変わらず続いているものの、大きな変化はない。
		その他サービス業[映像制作](経営者)	競争相手の様子	・取引先では出張費の削減など、小さなことでも切り詰めている様子で、大企業といえどもかなり絞っているようである。
		その他サービス業[ソフト開発](経営者)	競争相手の様子	・仕事はあるが単価が良くない。
		その他サービス業[情報サービス](従業員)	受注量や販売量の動き	・今月は夏期休暇の時期でもあり、受注量は若干減少しているが、特に景気に影響されたものではない。
	やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業(営業担当)	それ以外	・カレンダー関連の業者が、来年の企業向けのカレンダーの受注が前年より更に減り困っていると話している。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合いがほとんどなくなってきている。世界中の景気が落ち込んできているのが一番の原因である。
		精密機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・単月の売上は前月比マイナス5%で悪くなっている。また、メーカーの在庫がはけておらず、受注量が確保できていない。
		輸送業(経営者)	取引先の様子	・最近、荷動きが悪くなり、燃料が上がる一方で、仕事量は減る一方である。我々のような中小企業はこの先、どうなるのか本当に迷っているところである。
		金融業(支店長)	取引先の様子	・中国の景気減速への懸念から世界的な株安が起きている。国内景気はさほど悪くないが、世界的な株相場へのリスクが顕在化している。
		金融業(役員)	取引先の様子	・これまで景気をけん引してきた輸出関連企業に元気がなくなっている。計画を下方修正されて困っているとの中小企業者の声をよく聞くようになってきている。
悪くなっている	出版・印刷・同関連産業(所長)	受注量や販売量の動き	・例年8月はお盆時期の影響で受注量が少ないが、想定範囲を大きく下回っている。特に、折込チラシの回数が激減している。	
	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・8月は盆休みで稼働日が少ないため売上額は下がるが、過去3年と比較しても今年の8月の売上額は特に低い。事前に出していた得意先からの生産見通しよりも少なくなっている。	
	輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・株式相場に象徴される軟弱な基盤にある経済の表れなのかと理解している。もう少し底固めが必要ではないか。	
	その他サービス業[廃棄物処理](経営者)	受注量や販売量の動き	・客の経費削減策が強化されており、注文のスパンが長くなっているうえに、価格競争も激しい。売上は例年に比べ2割程度落ち込んでいる。	
雇用関連 (南関東)	良くなっている	人材派遣会社(営業担当)	求人数の動き	・引き続き募集に対し、人手不足感がある。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社(営業担当)	求人数の動き	・今まであまり聞かなかった正社員が欲しいという企業の声が多くなり、1~2名ではなく、3名以上欲しいという話が増えている。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	求人数の動き	・求人案件が活発である。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比2けたの増加率で、前月に引き続き増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は、7月は前月比マイナス3.7%、6月は同7.9%、5月は同マイナス16.6%と増減を繰り返しているが、前年同月比では5月がマイナスとなっていたものの、6～7月はプラスで推移している。新規は増加しても有効求職者数でみると、前月比、前年同月比でみて3か月連続マイナスで推移しているところから、採用が決まりやすい状況となっているようなので、景気はやや良くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・7月の有効求人倍率は1.01倍で前月から0.04ポイント上昇した。また、新規求人数は3,201人で前月比21.2%の増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・このところ求人数は前年同月比で2けた増となっている。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・賃金水準に変化がないため、景気の変化は感じられない。
		人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・求職者である新規登録者数が横ばいである。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	採用者数の動き	・取引先企業や関連会社で、人を採用したいがなかなか採用できないという話を耳にする。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で増加を続けているが、景気の動向の影響を受けにくい医療、福祉関係の増加によるものであり、正社員の求人数をみると新規求人全体の増加とは異なり、増減を繰り返し、増加率もわずかな幅で動いていることから、企業の採用意欲等は景気の動向をみながらの足踏み状態である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の増加が一時に比べてかなり緩やかになってきている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人数は数年前と比べると以前より高いレベルではあるが、求人条件などはそれほど良くなっているとは思えない。経済回復の力強さが感じられない。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・大手を中心に新卒採用の活動は終了段階である。時期のずれにより8月に大きく学生が動いたことで新卒確保がうまくいかない企業が出てきており、中途採用で補充していく動きが出ている。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・従来まである程度、期間工等の求人があった自動車産業等を含めて、求人数が全く増加しない。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・事務系の派遣求人数が若干ではあるが減っている。	
	人材派遣会社（支店長）	それ以外	・派遣成約率が前年と比較して悪化している。オーダーと人材のミスマッチが顕著になってきている。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・例年8月は悪いが、今月は倒産が5社、廃業1社、新規が大口を含めて35件である。従来のユーザーもそれほど落ち込んでいないなかで、ゼロとなったところもある。今月の落ち込みは厳しい。	
悪くなっている	-	-	-	

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)	良くなっている	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・インバウンド関連の売上が著しく伸長している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・プレミアム付商品券により夏場の旅行申込が激増している。前年同月比で前月は倍増、今月も30%増加である。1泊の宿泊予約から欧州旅行まで旅行単価は1万～40万円と幅広い商品で増加しており、景気の好調さが顕著に表れている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・新規出店の要請がある。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・ここ数か月は購買意欲がみられ、販売量の増加にもつながりつつある。商品や売場によっては、売上が増加している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・式年遷宮から約2年となり観光客の動きは平静を取り戻し安定しているが、伊勢志摩サミットの関連で、地域の人気が高まってきている。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・夏休み期間中は全体的に天候に恵まれ、消費の一層の拡大につながっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・今月は非常に暑かったが、下旬からは涼しくなり秋物衣料品の動きも顕著に出てきている。インバウンド関連も引き続き好調に推移しており、売上の底上げ要因となっている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・個別には、前年を上回っている商店と下回っている商店があるが、全体としてはやや良いという状態である。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・余裕を持って買物をしている客が多く、景気が上向いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・店舗内のほぼ全部門で、売上は前年同期比100%を大きく上回っている。市内の他店でも同じ状況である。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・8月上旬から中旬にかけて、帰省用の手土産の果物が売上を伸ばし、天候にも恵まれ売上は順調に推移している。ただし、昼の2～3時の時間帯は、猛暑を避けるためか来客数が減少している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・お盆に関連する食品やその他の商品の売上が、全体的に前年同期比で3%ほど増加している。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・夏休みで人出が多い。
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・景気の底堅さの上に猛暑のおかげで、販売量が大きく上積みされている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・気温の影響もあり、3か月前に比べて冷蔵庫やエアコンが堅調に推移し、8月は良い結果となっている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が前月よりも増えている。家族連れも多くなってきて、少しずつではあるが、客の動きに変化がみられる。
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・リフォームや建築工事に伴って、クロスやカーテン等のインテリアの見積りや引き合いが多くなってきている。
		その他専門店【書籍】（店員）	来客数の動き	・芥川賞を受賞した話題作も大きく影響しているが、プレミアム付商品券で購入する客も目立ち、前年同期よりも売上が1割近く上昇している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・前月に続いて暑い日が多く、今月前半も客が多かった。お盆前後も天候に恵まれ墓参りや家族で旅行等、好調であった。下旬も雨が多かったが、通勤時間帯の客が多く、今月は平均して良い状況である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・設備投資の件数が増加傾向にあり、NGN（次世代ネットワーク）の利用も増加しつつある。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候に恵まれて少し客足が戻っている。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・8月からホームケアキャンペーンが始まり、その効果で購入が増えている。
		その他サービス【介護サービス】（職員）	競争相手の様子	・住宅介護事業に新規に参入する施設が増加しているため、業界では人材募集も増加傾向にある。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・お盆の客の契約が9月に上がってくる。来客数は例年以下だったが、真剣に考えている客が多かったため、契約数は例年通りに推移する。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・相変わらず売価が千円以上の商品は低迷している。しかし、千円以下の商品が伸びているので、トータルでは横ばいである。
		一般小売店【電気屋】（経営者）	販売量の動き	・季節要因の押し上げで、今月は3か月前よりも数字が良い。季節要因を除くと、クレジット利用率は上がっておらず、現金客がかなり多いことを考えると、景気は良くない。
		一般小売店【酒類】（経営者）	来客数の動き	・来客数が安定していない飲食店がまだ多い。
		一般小売店【薬局】（経営者）	来客数の動き	・天候不順や猛暑のためか、午前中は忙しいが、午後になると来客数が落ちてしまい売上も伸びない。処方箋調剤は、お盆前の駆け込みで7月中旬から8月初めまでは忙しかったが、8月中旬以降は伸び悩んでいる。
		一般小売店【贈答品】（経営者）	お客様の様子	・8月は売上が伸び悩む時期であるが、3か月前と比べて変わらない。売上が伸びているところがあるため、売上の悪いところがあっても全体で変わらない状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・天候の影響で菊や小菊等が品薄のためかなり高騰し、例年のお盆時期より随分高くなった。しかし高いと言う客はほとんどなく、ふだん通り買われたので売上は落ちなかった。先祖の供養をきちんとする人が多いと感じる。
		一般小売店〔果物〕（店員）	販売量の動き	・販売量に目立った動きはない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・お盆休みは、家族連れで買物に来る客が多かった。買物をしない来店者数も増えているが、まだクリアランスを行っていたので、少しではあるが売上増加にもつながっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・プレミアム付商品券が発売されたが、ほとんど店頭では使われていない。購買意欲の向上にはつながっていない。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・お盆セールは、例年は多い北陸からの客が少なく、売上に大きく影響した。ゴールデンウィーク同様、大型連休の遠方からの客が減少している。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・婦人服を中心とする衣料品の動きが悪く、中間層の購買意欲に弱さがみられる点で、3か月前と状況には変化がない。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・ファッション商品の動きが徐々に活発になる時期にもかかわらず、消費の主役である婦人衣料では、春からの芳しくない状況が続いている。普通の主婦層には、富裕層や一部の好調な会社業績に伴って給与増加を実感できる消費者とは異なり、生活防衛の姿勢に変化がない。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・夏休み期間は、商品を見ているだけの客が前年よりも多かったように感じる。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・天候が良くないためか、お盆明けから全く来客数が伸びない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価には大きな変化はない。1客当たり買上点数は若干下がっているが、1品当たり単価が上がり客単価を維持する状態が続いている。商品の値上げ等、非常に不安定な要素もあり、お盆明け以降は、少し苦戦している。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・売上高は特に変わらず、例年と同じである。
		スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・売上は前年同期比101%で推移しているが、実質的には前年が悪すぎた分を今年度もカバーできていない。来客数は伸びているが、1客当たりの買上点数は前年同期比94%で、売上の底上げにはつながっていない。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・3か月前に比べて売上は約4%下がり、来客数もやや減少している。客単価、1品当たり単価は順調に推移している。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・地域によってはプレミアム付商品券の効果による売上増加で多少改善傾向にあるが、大きな変化はない。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・プレミアム付商品券の効果で客単価が上がり、売上は前年並みをクリアしたが、来客数はまだ前年割れの状態である。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・前年比の売上は回復傾向にあり、8月は前年同期をクリアしている。来客数は増加傾向にあるが、客単価の前年割れが5月以降発生している。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・客は買物の際に無駄な物は買わない。くじや一時的な流行品は買わず、本当に必要な物しか購入しない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年ならばバーゲンのポップ広告で新規客が来店するが、猛暑のため来客数が激減している。
		衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・客の指向が付加価値の高い商品から必需品に絞った購入へと変わってきている。当社でもその影響を受けている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・暑さでエアコンが前年よりも売れたが、工事可能件数とメーカー在庫が追い付かず、売行きは限定的である。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売台数をみても景気が良くなっているとは思えない。イベントで来客はあっても、販売に結び付かない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車発売の効果もあって新車の販売台数は増えており、この2～3か月でみれば、ようやく前年並みの販売台数で推移している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販促施策を実施しても、反応が少ないという印象である。
		乗用車販売店 (従業員)	競争相手の様子	・競合先の様子をみても、全体的には悪くない。例年8月はあまり動きがない月であり、広告への反響も来店店の動きもあるが、横ばいである。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売量は4月からずっと悪い状況が続いている。
		その他専門店 [貴金属](営業担当)	販売量の動き	・夏休みということもあって、家族連れやカップルは少ない。宝石を見に来る客は多いが、購入には至らない。
		その他小売 [ショッピングセンター](経理担当)	販売量の動き	・売上高は前年比で0.9%のプラスで、来客数は、前年比でマイナス1.7%となっており、減少傾向には変わりがない。
		高級レストラン (役員)	来客数の動き	・例年お盆期間は個人利用が多い時期であるが、前年並みの来客数となっている。個人消費には、力強さが感じられない。
		一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・今月は天候に恵まれ、集客が上がっている。
		その他飲食[仕出し] (経営者)	販売量の動き	・お盆の連休の影響は、業界によってプラスマイナスが分かれる。当業界では、やや流れが良くないムードになっている。
		観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・全社的には前年比、予算共にクリアしているが、内訳をみるとインバウンドや国内でも遠方からの宿泊客が好調で、大きく助けられている。近郊や地元客の利用が芳しくなく、特に食堂は前年をかなり割り込んでおり、危機感を感じる。
		都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊予約客のリードタイムが短くなっており、不安要素が見受けられる。
		都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・宿泊部門は好調であるが、宴会部門は、低迷している。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・個人客の動きが相変わらず鈍い。プレミアム付商品券でもう少し活気付くかと思ったが、それほど活性化はしていないと感じている。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・今月も忙しさを感じない。売上も、前年に比べて良くないとは思えない。
		旅行代理店(経営者)	単価の動き	・お盆休みも終わって正月まで4か月となり、年末年始の話が増えてきている。単価が上がる時期なので、内容が良くしてお買い得感のある商品が好評である。9月の大型連休向けや紅葉観賞商品も動いているが、新規の動きが鈍い。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・客層が二極化している。高齢で余裕のある層とそれ以外の層では消費が異なる。ただし、いずれも節約志向が強くなっている。一方でインバウンド関連は堅調であり、景気の状態としては変わらない。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・旅行会社にとって、8月は一番客が動く時期であるが、台風による沖縄旅行の取消し等が出て、ほぼ前年と同じくらいになっている。販売量は伸びているが、良くない感じはしない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年8月は、繁華街への入出は少ないが、前年と比べても更に少なく、先の見えない状況が続いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜の繁華街でも、入出の多い日は、月に2~3度くらいしかない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客からの問い合わせ件数は前年並みで、特に変化がない。
		テーマパーク (職員)	お客様の様子	・インバウンドの客は増えているが、日本人客が減っているので、変わらない。
		ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・入場者数は予算並みで、前年同期より4%強増えている。売上高は、前年同期を4%弱上回っているものの、予算には若干届いていない。
		その他レジャー施設[劇場] (職員)	販売量の動き	・夏季休暇期間の前売りは例年を下回り、当日券も伸び悩んでいる。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・客にお盆の過ごし方を聞くと、出掛けたという客も比較的いるが、家にいて何もしなかったという客が多い。
		その他サービス[介護サービス] (職員)	お客様の様子	・介護保険法の改正により、8月から一部のサービスで利用者負担率が2割となる。その影響で、福祉用具貸与とサービスを解約する客が出てきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		設計事務所（職員）	それ以外	・建築の仕事は、管轄から新築まで幅広く、デパートの買物等と違って金額がとても大きい。株価の動向等、社会経済状況がとても関わってくる。前月からの株価の変動に伴う社会の落ち着かない様子、経済的な揺らぎ等を見ると、景気がこれから上向きになるとは考えられない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量は横ばいの状況である。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	販売量の動き	・不動産売買については、横ばいが続いている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客先を回って営業しても、少額商品ですら容易には購入に至らない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数はほとんど変わってない。客単価が低いので、販売量や販売高の改善につながらない状況が1～2年続いている。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・最近の急激な株価安、円高への不安が高まっている。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑の影響で来客数が減少している。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	販売量の動き	・客の購買動向は、中国の景気減速や株価下落等の動きに、非常に敏感であると感じている。8月の販売量は、気候の影響もあり前年同月比で2割減となっている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・ショッピングセンターに行っても、チラシの入った日とその週末は来客数があるが、夏休みなのに平日には客は入らない。コンビニも競争がますます激しくなり、地域一番店と他の店との売上格差は更に開き、大手チェーン同士でも、売れる店と売れない店の差が大きくなってきている。ここに来て、中国経済の低迷が世界的に大きく影響し、消費者の節約志向が強まり、慎重になっている。そのため、消費も輸出も伸びず、景気はやや悪くなっている。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・暑い時期はドリンク等の飲料やそうめん等の涼味商材がよく売れた。しかし、少し涼しくなると夏物は売れない。足元の販売量が減少しているのは、「少し涼しくなったからこれを」という客のニーズに合った商品を提案できてないためと感じる。
		スーパー（営業企画）	単価の動き	・購入点数の減少に伴い、購入単価が落ちてきている。不要不急な物に対する消費がシビアになってきている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・お盆過ぎまで猛暑が続き、来客数が減少している。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ガソリン価格が値下がりして助かるという話は聞くが、景気は良くなっているとはいえない。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・軽自動車は堅調だが、高額車の販売は不振を極めていいる。客は少しでも安い車種を探す傾向にあり、厳しい状況である。また、年金受給者は、維持費にお金がかかけられないという声も多く、不透明感が高まっている。自動車保険も、少しでも安いところへと流れる傾向がみられ、非常に不安を感じる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・株価が乱高下する経済状況であるが、客との会話では、あれは別の世界の話ということで、身の回りで景気が良くなっている実感はなく、日用品の価格上昇が実感しないと耳にする。新型車種が発売され、客がもう少し車に関心を持ってくれるかと思っただ、期待ほどではなく、景気の実態はかなり厳しいようである。
		一般レストラン（経営者）	それ以外	・野菜やその他食品等、当店で取扱う食材のすべてが値上がりしている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊者数、昼食・夕食の客は、前年比で10%前後減少している。3か月前の5月頃に比べて、若干だが悪化の度合いが大きくなっている。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・夏のボーナスやプレミアム付商品券等の効果を期待したものの、実際には、新規契約は前年と比べても落ち込んできている。ショッピングセンターへのイベント出店時にも、来客数そのものが減ってきていると感じる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・光回線の新規申込は増加しているが、廃止も増加している。携帯電話会社の掛け放題サービスや、節約のために携帯電話のみにする客も増えているため、固定電話の解約が増えている。
		観光名所（案内係）	来客数の動き	・地域全般への来客数が減っている。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きや単価の動きが少し悪くなっている。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年は忙しいお盆前にも、あまり客が来なかった。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・地域の人口減少と来年からの消費税増税が、客のムードに影響している。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・客や現場からは、景気が良くなるような話は聞かない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新築を検討している客がほとんどいない。リフォームが多くなってきている。
		その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	販売量の動き	・例年夏休みは学校の改修工事があるが、今年はなかった。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	販売量の動き	・今月前半は受注が好調であったが、後半はさっぱりで売上が伸びない状況である。
		悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き
	商店街（代表者）		お客様の様子	・客には節約志向が相変わらず強い。
	美容室（経営者）		お客様の様子	・客層が高齢化しており、夏の暑さもあって客足が遠のいている。
	理美容室（経営者）		お客様の様子	・地方では景気の良い話はない。相変わらず、客は安い店に流れている。
	住宅販売会社（経営者）		競争相手の様子	・広告を出しても集客が悪く、購入意欲も感じられない。
	企業動向関連（東海）	良くなっている	-	-
やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の設備投資が、今月から来月まで続くので、現時点においては、出荷量、受注量が増加している。	
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先では新製品の生産がもうじき始まるため、それに伴う設備投資が増えてきている。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・円安を背景に、輸出並びに海外での車両組立て用の部品が数量を伸ばしている。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが、前年同期比で7.3%のプラスと良くなってきている。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物件の引き合い件数がやや多くなり、価格低迷を脱してきている。	
	企業広告制作業（経営者）	それ以外	・人事院勧告により国家公務員の給与が引上げられたのは、民間企業が好調な証拠である。	
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・上半期を通じて大手システム会社との取引が活発で、人手不足のため案件に対してすべて応えることができない。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・当社では引き合いも多く良い状態であるが、他社においてはそれほど良くない。	
	変わらない	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・自動車産業の関係者の話では、発注数等はほぼ横ばいとのことである。
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・猛暑、酷暑と言われる割には、夏物商品の動きが良くない。
出版・印刷・同関連産業（代表）		受注量や販売量の動き	・同業他社の状況をみても、販売量は決して良くはないようである。	
化学工業（人事担当）		それ以外	・量販店での来客数、旅行の混み具合等から人の動きをみても、特段の変化はない。外部要因についても、ここ3か月間では大きな変化がない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・株価の乱高下で、穏やかな好景気が本物かと不安にさせる。世界的には、円が比較的安全な投資先として買われている実態もあり、安心感もある。中国経済の行方に関する憶測だけで世界中の株価が揺れ動く状況は、やはり不安定である。マクロ的な不安感はさておき、周りの景気は株に興味を持つ人が増えているほかは変わりはなく、悪くはない。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は、減少傾向が続いている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・商品に対する問い合わせ件数に落ち込みはないものの、商談が成立するまでに時間がかかるようになっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・株価の動きはあまり関係ないが、円高傾向が気になる。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・得意先からの受注量に変化はあまりなく、想定どおりの水準となっている。中国経済減速の直接的影響は少ない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・数か月前と比較して、受注量・販売量共に大きな変動はなく、着実に利益を確保できている状況が続いている。
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・関係先の話や聞くと、どこも厳しいようで景気が良くない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・輸出の荷動きは堅調である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて、どちらかといえば荷物は減っているが、大きな動きはない。取引先の様子も、良い悪いが顕著ということはない。
		通信会社（法人営業担当）	それ以外	・景気が上向きとなる状況が感じられない。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・自動車関連では新車開発予算が多くなっており、試作用部品の受注が増加している。
		不動産業（用地仕入）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格に大きな変化がない。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・ウェブ広告の受注が少しずつ増えているが、一方で紙媒体等は微減となっている。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・出荷量が例年と変わらない。
		公認会計士	それ以外	・円安に伴う材料価格や電力料金の上昇並びに人件費の高騰により、中小企業の収益性は大幅に悪化している。金融円滑化法の出口戦略が不明確なため、返済猶予中の会社が中途半端に生き残っている。また、それに対する金融機関の対応が場当たり的である。
		会計事務所（社会保険労務士）	それ以外	・旅行先の出来事で、宿泊料金はやや高めの宿であったが、空室確認の電話には満室で断りを入れていた。その一方で、宿泊客が購入する土産物は少なく、金の使い道にメリハリをつけている。あれにもこれにもと、金を使える状況ではないようである。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・台風や天候不順の影響もあり、受注量・販売量共に前年同期比で5～8%ほど減少している。
		化学工業（営業）	受注量や販売量の動き	・例年お盆にも稼働する化学メーカーがあるが、今年は少なかったため、今月の売上は予算を大幅に下回っている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・既往製品は堅調に推移しているが、微減傾向である。新規開発品は受注が増えつつあるが、価格競争が厳しい。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、夏場に向けて4～6月期よりは増加するはずが、今年は10～20%減少している。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・スマートフォン向け設備の受注には、前年ほどの勢いがなく、自動車や一般産業用設備の受注では、その落ち込みを補うことができない。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・建築費、土地価格の上昇により、販売価格と客が購入可能な価格にかい離が生じており、競合他社と同様、販売に苦戦している。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・中国をマーケットとする製造業の荷物が大幅に落ち込んでいる。特に、建設機械関連は停止に近い状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年8月は天候によって荷動きが変わり、猛暑の場合には夏物の荷動きが活発になる。しかし、今年は猛暑にもかかわらず、前年をやや下回る低調な荷動きになっている。一方、トラック燃料の軽油価格は値下がり傾向にあり、経営としてはコスト減少の恩恵を受け、業績は改善傾向にある。	
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・中国の景気減退による世界的な株安と円高により、個人の資産効果も薄れ、一部には保有金融資産に含み損が出始めており、消費に慎重になりつつある。	
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・衣料、家電等の量販店では売上が上昇傾向であったものの、足元には不透明感が出てきている。また、医療関係では減収傾向がみられるほか、建築工事受注にも減少がみられる。	
	悪く なっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・注文数量の変更や納期の先送り等、ここにきて急激に販売状況が悪化している。	
雇用 関連 (東海)	良く なっている やや良く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同期と比較し、中途で正社員採用を進める企業の意向がやや強くなっている。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ピアガーデン等のイベントでのスタッフ利用が増えており、例年に比べても多くなっている。	
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3か月前と比較して、求人数は5%強の増加がみられる。前年比でも微増の状況となっており、引き続き堅調に推移している。	
		アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・9月以降の新型車種の販売に向けて、雇用確保の動きがある。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が増加に転じている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・医療・介護分野での人手不足は慢性化している。求人募集の採用意欲も、引き続き全産業においてあるが、正社員の求人数の伸びは鈍い。基幹産業である自動車等の製造業は、海外生産にシフトした影響も出ている。オートバイ関係においては、前年末に底を打ってからは順調に推移し、残業や交代勤務を復活した会社も出始めている。また、環境産業では中国人を求人対象とした事業者の増加もみられ、現在は忙しい状況である。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・7月の有効求人倍率は1.28倍と4月に比べて改善している。正社員の新規求人数も5.7%増加し、正社員有効求人倍率は、0.94倍まで改善している。	
		民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・企業からの求人ニーズが高まっており、既存の雇用者に対しても、賃上げ等の処遇改善の動きが活発化しているとみられる。	
		変わらない	人材派遣会社（経営企画）	求職者数の動き	・求職者の動きには大きな変化はない。
			人材派遣会社（社員）	それ以外	・労働者派遣法改正の動きが見通せず、企業側では、派遣人材活用の継続・拡大の判断ができない。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材をじっくり見極めて採用する傾向にあるが、有能な人材に対する求人は堅調である。		
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業からのエンジニア派遣の引き合いは引き続き多く、エンジニア不足の状態が続いている。		
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・求人広告の件数はネットを中心に増えているが、だからといって景気が上向きとは言い難い。企業や業種によって、大きな偏りがあると感じる。		
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比で10%ほど伸びている。新卒者の求人数も、高卒、大卒共に約10%伸びていることから、企業では求人難の状況がうかがえる。しかし、求職者が十分に集まらないのが現状である。		
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・一般求人の就職者数、充足率には特に変化がなく、前年同月でも、月毎に微増か微減の状況が続いている。		
	民間職業紹介機関（支社長）	それ以外	・株価の低迷が続いている。		
	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・採用活動は引き続き活況である。新卒者の入社研修も終わって現場配属が完了し、その上で必要な人材について、第二新卒採用の動きも出ている。		
	その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	周辺企業の様子	・業績の良い会社とあまり良くない会社があり業況が様々なので、全体で考えるとどちらでもない。		
	やや悪く なっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・8月は求人数が伸び悩んでいる。年度の初めは盛況だった採用活動も、一段落の感がある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・中国経済の動きに伴う世界同時株安の影響がある。
		新聞社[求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・医療・福祉や輸送分野の人手不足は慢性化している。一方で、自動車関連製造業を中心に、正社員の求人が鈍化している。
	悪くなっている	-	-	-

6. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(-: 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	良く なっている	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・8月の販売量は前年同月比120%である。5月の販売量は前年同月比59%だったので、3か月前と比較してかなり改善している。
	やや良く なっている	一般小売店[鮮魚] (従業員)	販売量の動き	・例年だと我々の業界はいわゆる夏枯れの第2四半期となるが、今年はさすがに北陸新幹線効果が持続して依然堅調に推移している。
		一般小売店[書籍] (従業員)	来客数の動き	・7~8月は年間でも売上の悪い期間だが、来客数は若干であるが伸び、買上点数も増えている。
		スーパー(店長)	単価の動き	・今年の場合はお盆の期間が短かったが猛暑の影響もあり、夏物商材は前年と違って顕著に良く売れたと思う。
		コンビニ(店長)	お客様の様子	・夏場全体の売上もそうなのだが、最近では花火大会などイベントに合わせて敏感に売上が向上する。コンビニ業界全体では供給過多のため全体的にそれほど好景気でないが、当店ではイベント時や好天時の売上が3か月程度前に比べて良くなっている。また、仕事以外でも最近では遊戯施設に行った際など去年よりもたくさんの人でにぎわっており、予約が埋まっていて取りにくいなど、私の身の回りの景気は上向きになってきていると感じている。
		コンビニ(店舗管理)	単価の動き	・ショッピングセンター内の店舗を中心に、多額のプレミアム付商品券が集まっている。その影響か、客単価が大幅に伸びた。猛暑も良い追い風になったであろう。
		衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・ある銀行の店長の話ではとても景気が良いとは思えない。しかし、私の感じでは2~3歩前の感じだが、少し景気は良くなっているのかなと思う。当店の客単価が少し上向いている。
		住関連専門店 (店員)	販売量の動き	・落ち込みが顕著に現れていた耐久消費財の販売が、単価、買上点数共に増加傾向にある。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・月末に貸切が入ったりして、悪かった前年同月よりも3割増しであったが、世界同時株安の時は来客数ゼロといった状態で、やはりそういうことに左右されるのかなと思う。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊売上は好調だが、レストラン売上は微増である。観光客は伸びている反面、平日のランチ客や地元客が減少しているのを感じる。
		都市型ホテル (役員)	販売量の動き	・宿泊部門は北陸新幹線開業以降、インパウンドとビジネス客の増加により順調に推移している。今秋の大会やコンベンションの増加により、宿泊は更に増加が見込まれる。レストラン部門はプレミアム付商品券の特需を期待したが、わずかな利用にとどまる見込みである。個人消費の回復には至っていない。法人の宴会利用も足踏み状態にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・3月の北陸新幹線開業後から人出が多く売上が好調である。8月は夏休みに加え猛暑で暑い日が続き、お盆を中心に特に観光客が平年より何倍も多く、良かった。
		タクシー運転手	販売量の動き	・今年は例年より登山客が多く、登山基地までの輸送が多かった。現地では自家用車も例年以上に多かった。
	通信会社(店舗統括)	販売量の動き	・広告を見て来店したという客が多く、そのような客への販売量は増えてきている。	
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・展示場来場者は新築、リフォームを含め増加している。情報量も着実に増加し、見込先件数もアップしている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客1人当たりの金額が比較的大きくなってきている。また、核家族だけでなく二世帯同居の話が増えている。リフォームにおいても大規模なものが増えてきた。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客で省エネ住宅エコポイントに関心を持っている人が増え、展示会の来場者数も以前と比べ増えていると感じる。
	変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・初秋物が例年通りの動きをしている。客も新しい傾向のものを探しているようだ。
		一般小売店[精肉](店長)	来客数の動き	・客数が特に減少した感じも増加した感じもない。いつも来る客の顔を見る。
		一般小売店[事務用品](店員)	競争相手の様子	・どこも苦戦を強いられている様子がみられ、いい話を聞かない。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・16日までの8月前半は夏物のセール品や晩夏物の定価品が堅調に動き、前年および前々年実績超えで推移した。しかし中旬以降は大型ディスカウント店オープンによる影響もしくは月末のプレミアム付商品券発売に伴う買い控えにより来客数が減少し、売上高が低迷している。
		スーパー(総務担当)	販売量の動き	・8月は中旬ごろまで猛暑が続いたため、食品では飲料、アイス、麺類、焼魚などの動きが良かった。
		スーパー(総務担当)	販売量の動き	・競合店の新築や食料品の値上げにより客の価格に対する意識が高まっている中、店舗の好不調の差が大きくなっている。ただし、全体としての購買量は昨年並みで推移しており、景気の状態は変わっていないと判断した。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・来客数は微増しているが、客単価の微減が続いている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・夏休みであり当店周辺施設で全国の大学からの合宿があったり、土日のイベント日の天候も良かったことから若干数字はアップしているが、普段のウィークデーの売上などは、普段の季節以上のアップはみられない。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・当地での大型ショッピングセンターの開業で、既存店の集客が10%以上減少しているように思われる。売上のパイの取り合いで、消耗戦の体をなしている。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・中古車とサービスの売上は少し良いが、新車販売については低調が続いている。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新型車の発売、展示会などで問い合わせは多くなっているが、なかなか販売に結びつかない状況が続いている。
		乗用車販売店(役員)	販売量の動き	・北陸新幹線のおかげで地域としては景気の高揚感を感じるが、観光客に左右される業種ではないのでその恩恵はあまりない。新型車が1車種増えたので、消費税増税後の前年と比較すると好調かなと感じる。
		自動車備品販売店(従業員)	お客様の様子	・今月に入り例年と比べると集客面が減少しており、来店購入率も低い状況である。依然として買物については慎重になってるよう感じられる。お盆期間も遠出を控え、近場で済ませたことでメンテナンス需要も下がっている。
		その他専門店[酒](経営者)	販売量の動き	・昔から2月と8月は暇だということになっているが、実際その通りである。お中元が過ぎお盆の時期になり、昔は帰省して家で飲んだり食べたりしたものだが、今はそうした需要もなく静かなものである。
		その他小売[ショッピングセンター]	お客様の様子	・連日の猛暑で盛夏衣料、寝具、プール用品、飲料、ノベルティアイスなどが一気に上がった。今年はお盆期間が短く、食料品が苦しんだ。プレミアム付商品券の使用数は落ち着いていたが、お盆期間に再び伸びた。プレミアム付商品券の使用はやはり食料品に集中していた。
		その他小売[ショッピングセンター](統括)	来客数の動き	・今夏、県内に相次いで大型商業施設が開業した。その影響があつてか、直近の夏季休暇期間の集客が減少し、売上も2年ぶりに昨年を下回った。ただし落ち込み幅は想定よりも小さく、今後の市場動向を注視していく。
		高級レストラン(スタッフ)	販売量の動き	・今年3月に開業した北陸新幹線の影響により、関東方面からの個人旅行客、団体旅行客の集客増が継続している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・天候のせい、平日の観光客は例年より少なく感じた。
		一般レストラン（統括）	それ以外	・売上高、来客数は予定通りの実績を残しても、人件費アップや原材料価格の高騰により利益が予定通りにならない。特に人手不足解消のため、現場の労務環境改善、待遇改善が急務の課題である。営業できる体制づくりが一層困難な状況で、営業日数減少や営業時間短縮による対応しかない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・夏休み期間は家族連れを中心に例年並みの入込人数と売上高だった。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比総売上140%、宿泊人数131%、宿泊単価113%と4月以降は前年を大きく上回っている。15名以上のグループは101%だが、14名以下の個人客が162%と大きな伸びとなっている。北陸新幹線開業効果が出ている結果である。
		旅行代理店（所長）	販売量の動き	・北陸新幹線開業後は順調に売上が伸びていたが、前年と変わらなくなってきた。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・例年8月はお盆休暇を挟み契約獲得数が例月比大きく減少する傾向にあるが、今年は引き続き好調に推移している。通信サービスの多様化による高速ネット回線需要がもう盛である結果と見ている。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・家族で複数台購入を希望する客など、機種にこだわらず古いから買換えようという客が多いが、来客数は以前と変わらない。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・例年8月は比較的閑散期ではあるが、今年は変わらず契約数が好調に推移している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・北陸新幹線の開業効果で首都圏からの客の伸びやインパウンド客の伸びはみられるものの、全体としての利用客数は前年同月比で横ばいで推移している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・6～8月は3か月続けて来客数が前年割れをしている。少し心配である。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・北陸新幹線開業のおこぼれか、お盆はぼちぼちの人出で昨年よりは活気があった。しかし、お盆以外の人出は日によってばらつきがあり、8月の売上は全体的に落ち込んでいる。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・県内にオープンした大型ショッピングセンターや夏休みの休暇に対する出費準備などの影響と思われるが、当商店街の今月の売上状況は良くないと思う。大型ショッピングセンターやアウトレットモールが開店したところから、商店街の通りの通行量も減少したと思う。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・8月は大型ショッピングセンターやアウトレットモール、食の大型ショッピングセンターなどがオープンし、そうした店舗で扱っている商品群については客はまずは新しい店で買物をしている。したがって、当店では若い男性や女性のファッション、食品関係については前年をやや割り込んでいる現状である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・8月に入りセールも一段落したせい、平日、土日に関わらず売上は厳しい日が続いていた。お盆の時期に帰省客や観光客で入店客数は増加したが、売上にはなかなかつながらず、物よりも食品などにお金を使う人が多く目立ったように思う。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・競合店の出店の影響もあり、以前と比べて来客数が非常に下がっている状況である。会員制大型量販店や大型ショッピングセンターなどの出店が続いているので、その分どうしても来客数が減っている。
		衣料品専門店（経営者）	それ以外	・中国をはじめとした株の暴落は社会不安を起している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・暑さも8月の前半のみにとどまり、エアコンなどの夏物商材の売行きが悪くなってきた。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・お盆に開催されたビッグレースの売上が予想以上に低迷した。
		その他レジャー施設（職員）	来客数の動き	・夏の特別教室の集客が思うようにいかず、春以来の会員減小をカバーすることができなかった。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築住宅及び分譲住宅の受注が安定しない。従来と比較して、爆発的に受注できる月がなくなり、低い水準でアップダウンを繰り返している。
	悪くなっている	-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
企業 動向 関連 (北陸)	良く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・第2四半期に入り7月中旬から8月になってようやく市の物件が発注され始め、受注できるようになった。
	やや良く なっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・スポーツ分野については、欧州向けが相変わらず厳しいが米国向けの受注があり、前年を上回る数量となっている。国内向けについては婦人ファッション分野は厳しい状況が続いている。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が増加してきた。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内市場では省エネ補助金の効果があり、受注が伸びた。
		司法書士	取引先の様子	・住宅用地が中心ではあるが、不動産取引が増加している。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同様で、どうにか低位安定という状況である。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・北陸地区において、工事量の減少傾向から一部で低価格受注の業者がみられ、受注価格競争激化の兆候が出始めている。
		輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安による原材料の値上げに伴う商品の価格アップの影響で、個人消費は良くなっていない。
		金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・工作機械メーカーなどの生産が高い水準にあるが、従来からも見られている動きである。また、百貨店の7月上もまずまずと聞いているが、アウトレットモールの開業や大型量販店の開業の今後の影響が気になるところである。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者からの情報では動きは少しずつ出ており、それがしばらくの間持続するだろうという話であった。
やや悪く なっている	食料品製造業（役員）	それ以外	・輸入原材料の高騰が収益性を悪化させている。販売量については104%前後で推移しているものの、収益性の問題から利益率は悪くなっている。	
	精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・国内小売大手数社の販売状況は引き続き厳しい状況が続いているようで、依然として仕入制限を行っている。当社商品については最近まではほとんどその対象外であったが、ここにきて一部対象にした店舗が出てきた。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・世界的な株価の下落から消費者心理が冷えてきた。プレミアム付商品券がなかったらもっと悪い。物価が落ち着いていることが唯一の好材料である。	
	税理士（所長）	取引先の様子	・中小零細企業では受注量があまり大きく伸びていない。いろいろな面で価格も厳しくなっている。大企業と中小企業の二極化も進んでいるような感じも出てきているのではないかとということで、とにかく値引き、安くということを出ている。消費に関する意欲が小さくなってきているような感じがしており、全体として世の中のお金の回りが良くないような気がする。	
悪く なっている	-	-	-	
雇用 関連 (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今年に入ってからの傾向が続いており、求人広告数はそれほど変わらないものの、正社員の募集の数が増えている。金額の高い自由原稿枠の出稿が増えているのは、多少の出費増は覚悟の上で少しでも目立つ自由枠への出稿となっているからだと思われ、求人については予定数を確保しきれない現状が背後にあると思われる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・全体的に求人数が前年同月と比較して増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が4000人を超え、依然好調な数字である。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・派遣受注数は増加傾向にあるものの、登録者数が依然伸びず、マッチング率が悪い。企業側も優秀な人材は正社員化の方向で検討する傾向になりつつある。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・ここ最近、新規案件でサービス関連の求人が多くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月とほぼ同様の水準となっている。この状況は3か月前と同様である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・一部大手はやや求人の増加傾向がみられるが、総じて横ばいである。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・IT関連企業や製造業を中心に、大手だけでなく中小企業の求人採用活動も活発である。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・1回平均50件ほど求人件数が減っている。
		新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き	・8月の求人広告売上は、前年同月比で6割であった。
	悪くなっている	-	-	-

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (近畿)	良くなっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・例年よりも暑かったほか、酒類の品ぞろえを増やしたことで、来客数は前年比で30%増となり、たばこの売上も20%増えている。
	やや良くなっている	一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・この暑さにもかかわらず、秋物の立ち上がりは比較的良い。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・中国人を中心とする外国人客の売上は、依然として堅調な動きが続いている。外商顧客の売上も、前年は消費税増税の影響で落ち込んでいたことから、前年比では増加傾向が続いている。ボリューム層については、6月はセール開始が後ずれしたことで悪化したものの、この2か月は前年の水準にまで回復しつつある。
		百貨店（服飾品担当）	販売量の動き	・今月の売上も、都心型の店舗で前年比120%以上、郊外型の店舗でも110%となっている。前年は雨が多かったことを除いても、ファッション販売の端境期ともいえる2月と8月が、今年は売上増となっている。インバウンドを除いた売上でも、贈答用を除く自家需要商品の売上が109%とアップするなど、高額商品を購入する客層の動きは引き続き良い。
		百貨店（販促担当）	販売量の動き	・8月は来客数や販売額、客単価などが前年を上回っている。アイテムでは雑貨関連が好調で、食品も堅調であるほか、今夏の暑さが後押しし、セールも好調となった。ただし、前月に比べれば上向きであるが、婦人衣料は苦戦しており、前年並みの推移である。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・市内だけで使用できるプレミアム付商品券であるため、市外の大型ショッピングセンターに行かなくなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・昨年は月前半の売上に台風などの影響が出たが、今年は天候にも恵まれた。地域の祭りに伴う需要や、お盆なども好調に推移し、売上は前年比で103%という結果になった。猛暑続きで、飲料などが前年を大きく上回っている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・夏のギフトやお盆商戦などの商品単価が上がっている。また、プレミアム付商品券の利用が多く、1人当たりの購入単価も上がるなど、良い傾向がみられる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・7月末に発行された大阪市のプレミアム付商品券の効果大きい。特に、家電などの高額品が売れているほか、食品も単価が上がってきている。
		スーパー（広報担当）	販売量の動き	・気温の上昇に伴い、衣料品や住居関連の季節商材がようやく動き出している。食品の動きは、生鮮を中心に引き続き底堅い。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・相変わらず、プレミアム商品やファストフードの売上が好調である。また、月前半の猛暑の影響により、ドリンク類の売上が増えた。特に機能性飲料が好調で、客単価が上昇している。
		コンビニ（広告担当）	来客数の動き	・現状がやや良くなっているのは、天候の影響である。猛暑によって来客数が増え、飲料などがよく売れている。ただし、今後は原材料の高騰による値上げの影響が出てくるため、この好調は夏の間に限られる。
		住関連専門店（店員）	単価の動き	・商品の平均単価が上がっている。
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・夏休み期間ということで、平日に1人で来店する客のほか、夫婦で来店し、少しぜいたくなランチを頼む客が多かった。ワインの注文もよく出ている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・お盆過ぎからは、平日の飲食店の利用者が徐々に増えている。特に、繁華街は夏休みの利用客や外国人客が増加している。ビジネス街では会社負担での大規模な宴会が増えていることから、確実に景気は上昇しているように感じる。	
		一般レストラン（経理担当）	来客数の動き	・相変わらずインバウンドの利用が多い。今後は国内需要の掘り起こしが必要になってくる。	
		一般レストラン（企画）	来客数の動き	・夏休みを境に、来客数に変化が出ており、前年を上回ることができそうである。単価を上げ、付加価値を高める戦略を進めるなかで、8月はハレの日が多いこともプラスに作用している。また、関東と比較しても、継続的に関西の方が好調となっている。	
		その他飲食【コーヒーショップ】（店長）	来客数の動き	・今年の夏は、好天に恵まれて喫茶需要が伸び、来客数、客単価共に好調である。	
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ふるさと割などの効果や、京都縦貫道の全線開通効果が出ている。	
		観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・宿泊客数については、2～8月は前年比で110%の動きとなっている。高野山の開創1200年や、熊野の文化遺産、赤ちゃんバンダの誕生など、景気とは別の要因で人が動いている。	
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊ではインバウンド客の増加が続いており、最近では団体客に加えて個人客も増えている。インターハイや高校野球での受入れもあり、今月はほぼ100%に近い稼働率となったほか、客室単価も前年比で約120%に上昇している。一方、宴会はオフシーズンであるが、前年並みの推移となった。全体的に景況感はあるが、宴会や会議などの受注増加や単価アップにつながるまでには、まだ時間がかかる。	
		都市型ホテル（管理担当）	販売量の動き	・引き続き海外客による宿泊の好調に加え、ここ数ヶ月はレストランの売上も好調に推移している。	
		都市型ホテル（客室担当）	単価の動き	・依然として客室稼働率は高水準を維持しており、客室単価も上昇傾向が続いている。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・夏休みであるほか、非常に暑いため、少しの距離でも利用してもらえる。ホテルの利用が増え、出入りする客が増えている。	
		観光名所（企画担当）	来客数の動き	・前年に比べ、来場者が徐々に増えてきている。一番大きな要因は外国人観光客の増加とみられる。	
		住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・受注が過去3か月に比べて好調で、前年も上回っている。特に不動産の動きが好調である。	
		変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・購入に慎重になっており、決定するまでに時間がかかる。売上も昨年を超えられず、微減の状態がずっと続いている。
			一般小売店【衣服】（経営者）	販売量の動き	・8月15日までは売上が前年を上回る推移となっていたが、月後半は数字が上らず、特に秋物の購買が極端に落ち込んだ。8月全体では前年比で98%となっている。
一般小売店【時計】（経営者）	販売量の動き		・月前半は修理や電池交換が中心であったが、月後半の10日間ぐらいで腕時計が何本か動き、安定した売上となった。携帯電話で時間をみることに抵抗を感じる人は多く、おしゃれを兼ねた時計の購入がみられる。特徴としては、今月はクレジットカードを使う人が目立っている。		
一般小売店【菓子】（経営企画担当）	販売量の動き		・8月と5月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均で見ると、関西は8月が85.9%で、5月が89.4%、関東は8月が102.1%で、5月が97.0%、中部は8月が100.0%で、5月が95.1%、中国は8月が87.3%で、5月が114.8%となり、各地区合計の平均は8月90.5%、5月94.6%となっている。地区によって好不調の波があるが、全国的に悪い。特に、関西は阿倍野地区の大型商業施設による特需の反動減で、中元、お盆商戦も良くなく、苦戦している。関西以外では前年並みとなっている地区もあるが、決して好調とはいえず、何とか維持しているのが現状である。		
一般小売店【精肉】（管理担当）	販売量の動き		・全体の景気の動きはあまり感じられない。お盆は全体的に消費意欲がおう盛であったものの、古くからにぎわっている市場は、今年は特に悪かったように感じた。すぐ近くのショッピングセンターは非常ににぎわっていたので、好不調の差がみられる。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・夏のセールに大きな動きはなかった。消費者の購買意欲は感じられるものの、バーゲンだからといって気軽に買う消費者は少ない。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	競争相手の様子	・問屋で買物していても、閉店していく店が増えており、寂しくなってきた。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・食料品の売上はほぼ前年を上回っているが、ファッション関連は約3%減となり、トータルでも1.5%減で推移している。まだまだセールでの販売が中心となっており、単価が上がってこない。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・外国人観光客による売上の増加を除いても、衣料品が好調である。ただし、秋物の定価品ではなく、夏物のバーゲン品の売上シェアが高い。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・百貨店などの小売業では、外国人観光客による売上増で一時的な効果は出ているが、季節商品のほか、ファッション関連の一部のブランド品以外は相変わらず苦戦している。特に、ファッション関連で長く続いているカジュアル化の傾向で、価格が下がっていることから、高額品にはマイナスの動きもある。その傾向は日本にも出ており、低価格化の動きが進みつつある。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月は売上目標に若干届いていない。月前半は好調に推移したが、中旬からは失速した。特に、中旬以降はバーゲンよりも定価品を強化したが、期待したほどの成果が出なかった。さらに、国内客の商品に対する評価は厳しく、単価が安いからといって、以前のように積極的に購入する傾向はますます減っている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・8月の中旬までは、猛暑による影響で来客数が減り、高額品の引き合いも低迷していた。暑さが落ち着いた後半以降は、秋物衣料の購買が例年よりも少し増え、高級ブランド品の引き合いも出てきている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ファッション関連はセールを中心に堅調であり、食品も動きに変化はない。一方、集客の目玉である専門店が好調となっている。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・インバウンド売上は前年の3～4倍で推移しており、売上全体を押し上げる大きな要因となっている。また、国内客についても、クリアランスは衣料品を中心に好調に推移している。
		百貨店（商品担当）	販売量の動き	・プレミアム付商品券による需要喚起が期待されたが、消費の底上げ効果は限定的である。一方、特選洋品や婦人雑貨は好調であるが、インバウンド効果は少し頭打ち気味である。
		百貨店（売場マネージャー）	単価の動き	・今夏はバーゲンの開始時期を後倒ししたこともあり、月前半の各部門の売上は前年比で1割近い伸びを示すなど、好調に推移した。お盆前後もまだまだ暑く、秋物への切替えも進まなかったが、下旬に入って少し涼しくなっただけからは、定価品に再び動きが出てきた。1品単価も前年比で5.9%上昇している。
		百貨店（売場マネージャー）	販売量の動き	・8月にしては、今年はあまり商品の動きが大きくない。熱中症の報道が多いように、気温が高いことで来客数に影響が出ている。昨年との違いといえば、台風の影響に左右される傾向が大きいことであり、売れている商品やアイテムは特に変化していない。
		百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・5～7月の累計でクリアランスの結果を検証すると、夏物商戦の売上は微増となっている。特に、猛暑でパラソルやサングラスなどの紫外線対策商品は好調となったが、婦人服ではボリューム層が苦戦し、インバウンド需要が好調という図式は変わらず、大きな改善はみられなかった。また、ボリューム層の価格にシビアな購買姿勢には変化がみられない。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月も入店客数は前年比で約5%減となっているが、婦人用の身の回り品の特選洋品や、美術工芸品の高額商品は好調に動いている。また、催事やギフト解体セールも好調であったが、婦人服や紳士服は前年実績の確保が難しい状況であり、店全体では引き続き前年並みで推移している。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・真夏日が続き、夏物衣料（紳士服飾、子ども服）を中心に前月のマイナス分を取り戻している。インバウンドの消費も堅調な動きとなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・競合店が多いため、客がその日によってどの店に行くか、チラシをみて動いている。特売を行っても対象商品だけが売れ、ほかの商品のついて買いがみられない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品を中心とした普段の生活必需品の動きは堅調であるが、そのほかの商品の動きは芳しくない。結果として、全体的には横ばいの傾向となっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・期待されたプレミアム付商品券の利用は、当初こそ高額商材に流れたものの、週を追うごとに食品へと流れ、70%以上が通常の買物に使用されているのが現状である。円安の影響による値上げに加え、野菜の高騰などもあり、景気が上向いているとは言い難い。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年並みの推移となっている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・各自治体でプレミアム付商品券が発行され、使用される機会も増えているため、若干のプラスの影響が出ている。ただし、気温の変化が激しく、天候も不順なため、売上は一進一退の状況である。
		スーパー（社員）	来客数の動き	・農産品を中心に、食品部門が好調に推移している。大半の店舗では、昨年に比べて客の来店回数が増加している。競合店が増えているなかで、客の来店回数が増加していることから、購買意欲が高まっていると感じられる。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・特に大きな変動もなく、来客数、単価共に伸び悩んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今年の夏は湿度が高く、暑過ぎるほか、雨の影響で客の購買意欲が低下している。
		衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・衣料品を買い控えている客が多い。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・家電製品の買換えサイクルが伸びている。故障しない限り、買換えない傾向が強い。
		乗用車販売店（営業企画）	来客数の動き	・思った以上に来客数が増えていない。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・ほとんどの人が景気対策による何らかの恩恵を得ているものの、好況を伝える報道などのギャップが大きいため、購買意欲がわかない様子である。
		自動車備品販売店（営業担当）	来客数の動き	・特に良くなる材料はなく、悪くなる材料も見当たらない。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・季節に関係なく、この3か月は売上、来客数共に横ばいの状況である。経済不安のニュースよりも、凶悪犯罪や安保問題のニュースの方が目立っていたため、あまり影響を受けなかったように感じる。
		その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・中国の株価下落に伴って、日本や米国の株価も下がっている。株価の動きは国際的に連動しやすく、客の心理も乱高下するため、今後注意していかなければならない。
		その他専門店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・月中旬を過ぎるころまで、暑さの厳しい日が続いた。そのため、飲料関連や制汗剤、紫外線対策商品などの動きが、昨年よりも非常に良かった。また、インバウンドによる買上の増加も、プラス材料になっている。
		その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・食品業界では低迷が続いている。まず建設業界や輸出関連の景気が良くなり、その数年後に食品業界にも影響が出てくるため、まだまだ時間がかかる。
		その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	販売量の動き	・株式市場の動きが不安定となり、景況感に悪影響が出ている。また、円高傾向の進行は輸出企業にとって不安要素でもあり、アベノミクスに暗雲が広がっている。
		その他専門店【宝飾品】（販売担当）	販売量の動き	・来客数と同様に、販売量にもほとんど動きがない。
		その他小売【インターネット通販】（オペレーター）	販売量の動き	・電話がかかってくる件数に変化はなく、新しいカタログへの反応も少ない。
		高級レストラン（企画）	来客数の動き	・価格が比較的低い商品の売上が伸びない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・お盆までは家族連れなどで来客数が伸びたが、お盆以降は減少している。近隣の店も客の数が少ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	販売量の動き	・親会社が変わったことで、特に自販機の販売への影響はなく、伸びる気配はみられない。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・8月は元々調子の良くなる月であるが、稼働率はピークに近い状態であるため、前年比での上積みはあまり見込めない。全体的には、相変わらず好調を維持している。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・相変わらずインバウンド頼みで、宿泊の好調を保っている。一方、宴会、レストラン部門の予約状況はあまり芳しくない。
		都市型ホテル（総務担当）	単価の動き	・客室の販売単価が依然として好調を保っている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・シルバーウィークの国内旅行の予約、問い合わせが増加しているが、既に旅館、飛行機の予約が取りにくい状況である。海外旅行では、単価の高い欧州方面が政情不安などでどうしても回復しにくく、全体を押し下げる要因になっている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・インバウンド客の動きは依然として活発であるが、海外旅行に対する個人需要が伸び悩んでいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・流し営業での売上は依然として好調に推移しており、遠距離、近距離を問わず順調となっている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・受注状況などに、大きな変化はみられない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・今夏の猛暑に加えて、東アジア情勢の悪化や中国株の下落により、海外からの観光客が減っている。
		競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は10,005円で、3か月前の9,904円よりも上がっている。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・インバウンドは堅調であるが、国内の一般観光客の動きは必ずしも良くない。
		美容室（店員）	来客数の動き	・先月に来られなかった客が、今月は来店している。
		その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	販売量の動き	・夏のキャンペーン効果もあり、ゲームソフトや新アイテム関連の売上は伸びているものの、レンタル、書籍売上の傾向には大きな変化がみられない。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きが芳しくない。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	お客様の様子	・3か月前と比べて、購入希望者の数はあまり変わらない。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	来客数の動き	・8月の住宅展示場への来場数は、前年とほぼ同数であった。特に目立った客の変化はない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・商店街で商売をしているが、近隣の大型スーパーが盆明けから利益を無視した動きに出ている。これには商店街はかなわない。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・お盆前までは通常どおりの推移であったが、盆明けは販売量が減少傾向にある。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	お客様の様子	・8月の酷暑の影響や、商品の若干の値上がりにより、一気に食品に対する支出が抑えられている。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	来客数の動き	・この8月は気温が高く、入客が少ない。
		一般小売店〔花〕（店長）	単価の動き	・猛暑の影響や商品価格の高騰により、販売量、価格共に悪化している。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・今までは悪いなりに、正月やゴールデンウィークなどの季節需要は集客、売上共に好調であったが、お盆の動きは非常に悪くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・京都地区では、台風の接近といった売上の減少要因はなかったが、前年の売上を若干下回っている。店全体では、引き続き特選衣料や化粧品などで、インバウンドのおう盛な需要がみられるものの、依然として中間層の購入が前年を下回っている。気温が高止まりしていることもあり、秋物衣料などの定価品の売上が若干苦戦しているほか、特価品の販売数量が前年比で2けた減となっている。客単価については、売れ筋商品の変化はあるものの、3か月前からは低下傾向にあり、前年も若干下回っている。
		百貨店（営業企画）	販売量の動き	・入店客数はほぼ前年並みを維持しているが、レジ客数が減少傾向である。プレミアム付商品券の利用は食品が中心であるなど、顧客の生活防衛意識はやはり高いと感じられる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・衣料品の売上は7月までの低迷を脱したが、8月に入ってから気温上昇で、夏物商材の売上が後ずれしただけである。また、住居関連では敷きパッドや冷感商材、アウトドア、プール関連が好調で、8月の売上を底上げしているが、食品は苦戦している。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・神戸市ではプレミアム付商品券の発売が始まったが、当社の客はほとんど手に入れることができなかった。商店街では対策を講じているが、売上へのプラス効果は限定的である。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・今夏の酷暑によって、エアコン需要が一気に高まり、季節商品の売上アップにつながった。また、プレミアム付商品券の利用も多く、景気回復につながったと感じる。ただし、その反動のほか、お盆を過ぎてから夜が涼しくなり、急に秋めいてきたこともあり、来客数が激減し始めている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・6月から仕事量が前年比で1割ぐらい減っている。8月は少し回復しているが、お盆休みで稼働日数が少ないため、売上が上がらない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・2～3か月前に比べると、学生が夏休みに入っているため売上全体は伸びている。ただし、県内や村内で販売された、プレミアム付商品券の効果が出てくると期待したものの、利用者が前年比で10%ほど減少している。
		旅行代理店（店長）	お客様の様子	・旅行でも料金重視の客が増えているように感じる。提示された条件に料金面で折り合えなければ、申込にはつながらず、安い商品に変更となる。
		旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・タイでのテロや、北朝鮮と韓国の関係悪化などで、渡航の延期や中止を決める客が増えている。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・お盆までは暑さで景気が良かったが、お盆明け以降は出費が控えられている。その後は株価も下落したため、利用が冷え込んでいる。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・テレビの多チャンネルサービスの売上ダウンが継続している。減少率は少し縮小しているが、回復基調には戻っていない。
		美容室（店長）	販売量の動き	・客の節約志向が強まり、化粧品のまとめ買いがかなり少なくなっている。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・広告に対する反応が極端に少なくなっている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・都心部のタワーマンションや駅前の再開発マンションは販売好調であるが、実需が中心のマンションは、販売価格の上昇に伴って苦戦し始めている。
	悪くなっている	その他住宅[情報誌]（編集者）	お客様の様子	・急激な株価の下落に伴い、不動産市況は一気に冷え込む恐れがある。都心のタワーマンションなど、実需以外の購入がこのところ目立っていただけに、反転した時の混乱が懸念される。
企業動向関連 (近畿)	良く なっている やや良く なっている			
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今年の夏は猛暑となり、調味料の売行きは今一つかと思っていたが、販売量は増えている。海外からの観光客の消費が増えているほか、少しずつではあるが、新規取引も増えてきている。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・昨年と比べて、8月上旬の気温が高く、雨も少なかったため、飲料水の売上がかなり伸びた。特に、熱中症対策の商品がかなり動いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・例年8月は受注量が減少するが、今年は例年ほど落ち込んでいない。新規の問い合わせも、3か月前に比べると増えている。
		一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・大口の商談が続いているなど、景況感は悪くない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・8月は夏枯れの時期であるが、休日が多いこともあって生産現場は忙しい。営業部門も夏枯れを感じさせないほど活気がある。ただし、成約に至る率は高いとはいえ、特に海外は東アジアの動きが悪い。得意先である台湾の大手スマートフォンメーカーの1社が傾きかけているなど、東アジアの動きからは目を離せない。
		電気機械器具製 造業（企画担 当）	受注量や販売量 の動き	・店舗関連のリニューアル案件や、完工したマンションからの受注量が増加している。
		電気機械器具製 造業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・引き合いの件数が増えている。
		輸送業（営業所 長）	受注量や販売量 の動き	・関東ほどではないが、関西でも事務所の新設や、現在より大きめの事務所に移る企業が増えるなど、移転の案件が増えている。
		金融業（営業担 当）	取引先の様子	・取引先の売上が徐々に増えている。ただし、受注の内容をみると、特に単価が厳しいようである。収益状況と受注の動向が比例するかどうかは、疑問である。
		広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・インターネット広告の売上の伸びが前年を超え、紙媒体の売上も前年並みを維持している。
		経営コンサルタ ント	取引先の様子	・SPA（製造小売）や製造業の取引先では、新規事業や新たな販路開拓に向けた取組意欲が高まっている。決して資金に余裕があるわけではないが、気持ちに余裕が出てきたように感じる。
		その他サービス 業〔店舗開発〕 （従業員）	受注量や販売量 の動き	・今年のお盆休みは最大9日間となるなど、長期休暇の会社も珍しくない。猛暑にもかかわらず家族連れなどの外出機会が増えたせいか、主要駅は軒並み前年を上回る乗降客でにぎわい、駅ナカ店舗もその恩恵を受けた。特に、人気テーマパークの来場が増えている効果は絶大であり、他府県や外国人旅行者による土産の購入も、売上好調の要因となっている。
	変わらない	繊維工業（団体 職員）	受注量や販売量 の動き	・生産量は前年比で増えているが、これは昨年の消費税増税後の落ち込みによる反動である。2年前と比較すると、依然として減少している。
		プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注ロットは明らかに小さくなっている。ただし、注文のスパンは短くなっており、必要な物を必要な時に購入するスタイルが徹底されてきている。
		金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・円安により、海外向け商品は有利に展開できるが、国内では荷動きが鈍っている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・最近では世界情勢の変化が激しいため、冷静な判断が求められる。
		電気機械器具製 造業（宣伝担 当）	受注量や販売量 の動き	・薄型テレビは4Kテレビの増加で単価がアップしているが、トータルの販売台数が伸び悩んでいるため、売上は前年並みとなっている。全体的にみても、ほぼ前年並みであるが、消費税率が8%に上がる前の水準は大きく下回っている。
		輸送用機械器具 製造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・航空機業界など、一部の特定産業の動きは活発となっている。ただし、中小企業を中心とした設備投資は、消費動向の改善がみられないなかで、依然として低調である。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注量にそれほど変わりはないが、電話やホームページでの問い合わせは少し増えている。また、異業種からの新規参入の相談も増えてきている。
		建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・技能労務者や現場監督技術員の不足が慢性化してきている。そのような人手不足のなかで、工期の厳守を最優先とした上での価格競争が進んでいる。
		建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・相変わらず、一般サラリーマンの年収は低いままである。
		金融業〔投資運 用業〕（代表）	それ以外	・良い材料も悪い要素もない。今の急激な株安もいずれは沈静化し、再び株高に戻っていく。
		不動産業（営業 担当）	取引先の様子	・神戸から事業所が撤退し、それに伴って事務所や社宅のニーズが減っている。その結果、神戸の景気が停滞していると感じる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・受注量は若干減少気味であるが、微減であるため、悪くなったという判断はできない。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	取引先の様子	・休み明けも忙しくなっておらず、状況に変化はない。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	競争相手の様子	・今夏は昨年よりも気温の高い日が多かったため、季節商品が思ったよりも伸びている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・中小企業では賞与の支給が前年を下回っており、物価上昇の動きに賃金が追い付いていない。
		繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・得意先からの注文が減ってきている。社員が催事に出向き、消費者に直接販売して売上を立てており、出張コストが利益を圧迫している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・内需関連の取引先からの受注量が減少している。
		化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・盆休みで稼働日が少し減っている。
		金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・例年、盆休み前はプラント関連の商品の受注があるが、今年はなかった。全体的に受注量が減っている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・客の数が減少しているほか、新しい配車システムに変更したため、1台当たりの配達件数が減り、配達に時間がかかるなど、無駄が多くなっている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・夏場の広告の出稿を見合わせる動きがみられる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・大阪の小売業の状況は、天候や暑さの影響もあって悪くなっている。
	悪くなっている	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	取引先の様子	・景気対策の効果も、中小企業や地方の企業にまでは回っていない。また、大企業は収益性の低い工場を閉鎖していることから、ますます悪化していく。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・新聞の購読数が減少しているほか、例年8月は折込収入が悪化するが、今年は極端に落ち込んでいる。
	雇用関連 (近畿)	良く なっている		-
やや良くなっている			人材派遣会社（役員）	それ以外
変わらない		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・新聞の求人広告は依然として一定水準を維持しており、安定的な出稿があるため、景気は上向きとみている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数（原数値）が前年比で増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・採用活動の後ろ倒しの影響で、採用は中小企業が先行し、大手企業が後を追いかける形となっている。採用数は前年度よりも増えているように感じている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業から寄せられる求人が、前年比で6.6%増となっている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・盆明けから少し動きが出てくると予想していたが、そのような雰囲気はなさそうである。上半期中はこの動きが続くと予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・労働者派遣法の改正を前に、求職者は派遣会社の動向や対応をじっくり見定めている。転職希望者もより慎重になっている。
変わらない		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告の推移をみると、3か月前の4～5月とはほぼ変わらず、前年比で90%前後となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で減少している。医療・福祉や卸売業では増加がみられるものの、製造業や小売業、飲食業など、多くの業種で減少した。また、有効求人倍率は0.96倍となり、前年よりも低下したものの、前月よりはわずかに上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数については、産業ごとのばらつきはあるものの、増加傾向が続いている。
		民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・当地域の日雇い労働者は徐々に減少が進んでいる。そのなかでも賃金が上がれば景気は上向きといえるが、東日本とは異なり、関西では上がっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・求人数の多い状態が続き、優秀な人材はなかなか採用できない状況となっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数の前年比での伸び率は、昨年並みとなっている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・紹介予定派遣の依頼が多く、派遣での採用が極端に減っている。
	悪くなっている	-	-	-

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (中国)	良くなっている			
	やや良くなっている	一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・アイスやデイリー食品、飲料品の売上が伸びている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ数か月、来客数は前年の101%と上昇を続けている。また客単価も上昇している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・猛暑日が続き、飲料等が非常に売れている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・気温上昇に伴い、中食商品や飲料等の動きも好調である。来客数は前年に比べて増加傾向である。
		コンビニ（副地域ブロック長）	販売量の動き	・飲料の需要が高く、全体の数値を押し上げている。あくまで環境変化による上昇であり、景気向上だとは判断できない。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数が増加している。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・猛暑ということもあり季節品が前年比100%以上で推移しており、季節商材を中心にやや良くなっている。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・夏季休暇時期ではあるが、その影響以上に販売数が増加している。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	販売量の動き	・夏休みに入り、家族連れでの利用が増えて買上点数が増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・インバウンド客が増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・7月はボーナス月なので売上は伸びている。会社の売上目標は前年比102%であったが、実際には前年の108%である。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の状況がややよくなってきている。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・夏休み期間中であるとともに、全体的に天候に恵まれたことによって来園客が増加している。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・盆期間中のレースと下旬に開催したG3競争で売上を確保できている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・客からの問い合わせや申込などが増加している。消費税再引上げ前の購入を希望している客が多く、具体的に検討している客が増えている。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・買い控える客が多く見られる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・観光客の入込はあるが、商店街では食料品の購入や飲食に限られ、その他の商品の動きは少ない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・現在商店街ではアーケード撤去中であり、客は来店しない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・3か月前と比べても身のまわりの景気は、店によりバラツキがあるものの、好調さを維持している。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・隣の店舗から出火した火事で全焼被害を受けたため、アーケードから少し離れた仮店舗で営業しているが、幸いにも来客数や販売量に大きな変化はみられない。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	お客様の様子	・生活必需品は購入するが、高額商品などは買い控え感がある。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・8月の売上は前年の97%の見込みである。ただし営業日数が前年より1日少ないことを考慮すれば、ほぼ前年並みの状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年同月比で売上高75%、来客数74%と、依然として低迷している。前年を上回っている店舗は約27%と前月より少し良くなっているが、良い店舗は先月と同様にサービス系のまつ毛エクステンションやヘアサロン、エステ等である。課題は新規店舗誘致であるが、難航しており、しばらくはこの状態が続くであろう。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・夏物セール最終月に入っても客の買い方は慎重なままで、再値下げになっても必要以上には買わない傾向は続いている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年は8月最終週に正価品の販売が伸びたため今年も期待していたが、そうした盛り上がりは見られなかった。プレミアム付商品券も日用品の購買に回ったと思われ、消費のかさ上げにはつながっていない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・夏物の稼働が8月になり伸びてきたものの、前年ベースである。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・夏セールは最終時期となってきた。厳しい暑さの継続は夏商材には追い風となるが、婦人服中心に最終価格となっても動きは低迷している。特に価格が下がっても、ミセスの購買姿勢には厳しさがある。その反面、宝飾品や美術品、特選ブランドといった高額マーケットの動きは上向いてきている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・8月前半、気温が高く推移して帽子やパラソル、UV手袋、サンダルなど盛夏物の雑貨が好調である。盆時期も前年に比べ帰省土産の動きがよかった。しかしながら依然として衣料品が苦戦しており、下旬に向けてファッション衣料の消費に力強さが無い。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・盆までは天候に恵まれ、アパレル業界がヒット商品を生み出したこともあって、秋物が例年よりも順調に売れていた。盆明け以降は台風等の影響がかなり大きく、ギフト解体セール等により来客数は増加したが、高品質の低額商品のみが売れる状況で、客の財布のひもは相変わらず堅い。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・時計等のブランド品の動きはあるが、美術品がなかなか売れない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数に大きな変化は見られない。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・仕入れ価格の上昇に伴う販売価格の上昇により、既存店売上は前年を上回っているが、来客数の流れはほとんど変化がない。
		スーパー（管理担当）	単価の動き	・プレミアム付商品券効果で客単価は伸びているが、来客数に変化はない。
		スーパー（業務開発担当）	単価の動き	・食品の値上げで表面単価は上がっているものの、実際の販売単価は前年を少し上回る程度である。定番は動かず特売商品だけが動いている状況である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と同様に、来客数は前年に比べて5～6%増加する状態が継続している状況に変わりがない。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・エアコンの販売台数は前年並みであるが、客単価が下がり苦戦している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数に変化はないが、客単価は上昇している。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・エアコンが伸びない。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・8月の販売量は前年の89%と大変厳しい状況が続いている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・前年と比べて来客数が減っており、増える気配がない。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・どの職種の客も景気の上向き感を感じていない。むしろ前年同時期よりも悪くなっているとの声が多く聞こえる。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・前年よりは良いものの一昨年より悪いので、景気の判断がつかかねる。
		その他専門店【ファッション雑貨】（従業員）	販売量の動き	・プレミアム付商品券の使用期限が終わりに近づくとともに、夏のバーゲンセールが終わり、秋物商品が立ち上がる時期であるが、客の反応は弱い。
		その他小売【ショッピングセンター】（所長）	来客数の動き	・飲食テナントの来客数が減少している。競合と件もあるが、客が外食に関して厳しくなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ここ1～2か月は週末の個人利用が少し低迷している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・数か月前には景気回復の予感があったものの、思ったほど良くなっていない。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊においては、行政の助成による観光券発行もあって、夏休みでの利用が増加している。インバウンド客も前年比で増加しており、市内での消費にプラスの影響が出ている。一方レストランなどの利用客は伸び悩んでおり、イベントでもない限り消費は抑え気味である。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊は海外客の増加により一室当たり平均金額が若干上昇してきているが、宴席やレストランは横ばい状態が続いている。
		都市型ホテル（総支配人）	競争相手の様子	・夏休み期間中であるが、例年の動きと比較して大きな変化がない。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・国内旅行は多少良くなっているが、海外旅行、特に中国や韓国向けがあまりに悪い。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・9月は大型連休があり好調であるが、10月以降の個人の海外旅行は引き続き低調である。円安基調の影響もあり、回復がまだ見込めない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・前年に比べると乗客数は多少多くなっている。
		通信会社（広報担当）	販売量の動き	・商戦期にもかかわらず、さほど販売数の動きがない。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・SIMロック解除の新サービスへの関心度はおおむね高い。
		通信会社（販売企画担当）	来客数の動き	・起爆剤となる材料がない。
		テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・来客数、商品販売額等は前年同月と変わらない。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・バス代値上がりによって団体客は減ったままであるが、天候に恵まれて個人客が増えている。
		ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・猛暑や台風など集客には不利な条件がそろったので、来場者数が伸びない。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・客単価が上昇せず、新しい客の確保も難しいという話をよく聞く。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・消費税が8%になって以降、戸建て住宅の引き合いが特に少なくなっている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・同業他社と同様に、一般客の来場が鈍い。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・国土交通省の大型補助金制度が始まったが、その助成を受けようとする客があまりいない。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・盆期間中の来場者数が伸びず、依然として低調な感じが続いている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・問い合わせ件数等は減少傾向であるが、住宅販売における閑散期であるため、景気の好不調を比較することは困難である。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・バーゲンセールを開催しているが、前年より天候に恵まれているものの、売上は前年よりも悪い。品質が良くても安くても、客は必要なもの以外の買物はしないので、景気は低迷が続いている。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月、販売量が前年を下回っている。中元商戦も年々低調になっており、単価も安くなっている。根本的な方向転換が必要である。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・印鑑やゴム印の注文が減少している。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・購入客数が前年に比べて3%から5%程度低く、来店しても買わない客が増えている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・地方の商店街の空き店舗率はますます上昇し、郊外の大型店舗に客が移っているが、来店しても実際に買物をしている人は少ない。高齢化が進み、コンパクトシティが見直されようとしているがなかなか進まない。呉服の販売も都会では伸びているが、地方では消費も落ち込んで難しい。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・売上が増加しない。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・売上拡大を図って大型展示会を開催したが、想定していたほど集客できず、販売量も落ち込んでいる。
		住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・土日や祝祭日の来客数が減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・プレミアム付商品券は発売されたが、客の購買量が増えていない。客は必要以上には買物しない。
		その他専門店 〔海産物〕（経営者）	来客数の動き	・8月は団体客の比率が一般客に比べて少ないので影響は小さいが、当地域全体でも観光客は減っている。
		一般レストラン （経営者）	お客様の様子	・地方では中小零細企業の賞与や昇給が微増に留まり、客の消費意欲も今一つ盛り上がり欠ける。特に外食での支出金額が低下傾向にある。
		一般レストラン （店長）	来客数の動き	・夏休みに入って例年では来客数が増えるが、当月は前年より少なく客単価も低下してきている。
		観光型ホテル （支配人）	販売量の動き	・宿泊以外の入込状況が芳しくない。レストランの営業形態を変更したこともあり、しばらく売上は減少する。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・激安店が駅前に2店出店したため、客が流れている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・8月に入り気候の影響もあってか来客数が少なく、購入金額も落ち込んでいる。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・盆を過ぎて特に食品に対する買い控えや来店頻度の減少が見えてきている。原料が値上がりした精肉などは、顕著に買上点数が低下しており、売上を大きく落としている。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・暑さの影響からか、客足がとにかく鈍い。それに輪を掛けて1人当たりの購入点数の減少は著しく、景気の後退は否めない。
		乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・来客数が盆までは前年の70%であったが、盆明け以降は前年の85%まで回復している。やや持ち直しているが、新車販売や車検等のサービス部門はともに客が多いといえる状態ではない。
企業動向関連 (中国)	良くなっている			
	やや良くなっている	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・6月ごろから上向きの兆しである。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・先月急激に落ち込んだ鉄鋼業向けの生産は、徐々にではあるが回復傾向である。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・企業の荷量は前年水準に戻りつつある。個人消費面でも帰省やレジャーに伴う荷物が前年を上回るなど、個人出しの荷量も増加している。
		輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・荷物の保管量や輸送数量が堅調に推移しており、今後も増加傾向にある。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・マイナンバー制度や度重なる情報漏えい事例により、法人企業からのセキュリティ対策に関する引き合いが増加している。
	変わらない	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・OEM生産量の変更に伴い全体の生産計画を見直し、やっと生産も落ち着いてきたが、販売量は若干下振れしている。
		繊維工業（経営管理担当）	取引先の様子	・3か月前と景気は変わっていない。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・定期的な仕事ではなく、スポット的なもので仕事を確保している。全体では前年後半に比べて、マイナス10%の出荷額である。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・取引先の活動水準は引き続き低く市況も低迷している。輸入鋼材も安値で流入してきており相変わらずの状況である。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に大きな変化はなく、3か月前と同水準で推移しており、フル操業を行っている。
		一般機械器具製造業（経理財務担当）	受注量や販売量の動き	・依然として販売量増加の兆しが見えない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	競争相手の様子	・設備投資に対し意欲はあるものの慎重にタイミングを削っている。消費税率再引上げもあり、今後景気の不透明感を払しょくできない。同業他社の秋の動きを十分注視していきたい。
輸送用機械器具製造業（財務担当）		受注価格や販売価格の動き	・一般消費者との取引でなく、企業間取引であるため、消費者マインドにより景気が左右することはほとんどない。原油価格や海運市況等の影響が大きいため、さほど大きな好悪材料は出ていない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客の国内シェアは増加しているが、海外生産の増加により輸出分の生産減少と相殺される格好になっており、国内受注量は前期並みとなっている。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・ここ最近では主だった変化が見られない。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・物件の数はあるが、配置技術者の関係で対応ができない状態が年度末まで続いている。この状況はしばらく変わらない。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず積極的な設備投資は控えられており、通信機器の受注量も伸び悩んでいることから、景気が好転しているとは考えにくい。
		金融業（自動車担当）	取引先の様子	・自動車部品メーカーの受注は高水準を維持している。完成車メーカーのメキシコ工場増産により、国内生産は前年比ではややマイナスであるが、依然として高水準にあり、土曜出勤を含め、残業で操業している。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約件数は先月とほぼ変わらない。
		やや悪くなっている		食料品製造業（総務担当）
化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き			・主要取引先からの当初の受注予定数量が中国景気の後退による輸出の減少により減量基調にある。
化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き			・世界同時株安なども起こり、内需が拡大しているとは思えない。素材産業なので、このままでは受注増にはなかなかつながらない。
その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き			・依然として受注状況や価格面では厳しい状況が続いているが、ここにきて多少円高になったことが救いになっており、その分材料価格が下がっている。
金融業（貸付担当）	受注量や販売量の動き			・3か月前の5月においては、前年同月と比べ消費増税後に落ち込んでいた受注や販売も回復していた取引先が多くあったが、今月は前年同月と比べて前年割れとなっている取引先がある。円安に伴う原料高が依然として続いており、販売価格に転嫁しにくい中小企業にとって厳しい状況が続いており、身のまわりの景気は3か月前と比べてやや悪くなっている。
広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き			・受注量や販売量は少し停滞しており動きが鈍い。取引先の状況もこの時期は動きが停滞している。
会計事務所（職員）	取引先の様子			・序盤は猛暑で中盤は盆休みと、小売業は中だるみ的な状態で、今月の売上は思った程伸びていない。また、建設業では相変わらずの人手不足で、人員の手配がつかないため売上に結び付く案件をあきらめざるを得ない事態もある。
悪くなっている		農林水産業（従業者）	それ以外	・7月を3か月前の4月と比較すると、水揚げ量は417tの減少、水揚げ金額は1億6,600万円の減少であった。水揚げ量と水揚げ金額の減少理由は沖合底引き網漁、中型巻き網漁や定置網漁の減少である。7月単月の前年比は、水揚げ量が244tの減少で前年の81%、水揚げ金額が2億5,700万円の減少で前年の42%であった。水揚げ量と水揚げ金額の減少理由は大中型巻き網漁、イカ釣り漁や定置網漁の減少である。
		非鉄金属製造業（業務担当）	それ以外	・世間全体の状況が総じて悪くなっている。
雇用関連 (中国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・地元飲食店では料理長が他地区の店へ異動するため、2軒相次いで店を閉めた。大規模都市にある店から、かなり良い条件で引き抜かれたようであり、新たに探そうにも腕の良い料理人は不足しており、地方は都市部の活況のあおりを受けている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、機械器具製造や電機部品製造からの増員求人があった製造業が前年同月比で5割増となったほか、宿泊業、飲食サービス業や医療福祉サービス業からも増員求人が相次いだことから、求人全体でも2割増となり増加傾向が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・建設業を除く各主要業種で新規求人数が増加している。このうち、卸小売業や宿泊飲食業を中心としたパート求人が前年比58.7%と大幅に伸びている。特に今秋オープンの大型ショッピングタウンのテナントやスーパーおよびコンビニチェーンなどの求人活動が活発である。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・事業拡大のための増員を理由とした中途採用が目立つようになってきている。また、将来を見越して早めに人材を採用するところも出始めている。例えば、管理部門の責任者候補の採用を検討している企業では、数年単位の引き継ぎ期間を設定しているところもある。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・求人誌競合の激化により、以前は価格的な対応であったが、雇用を促進するような企画を考えるようになっており、雇用意識が高まる期待感がある。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	周辺企業の様子	・営業先で中小企業や小規模事業主を訪問するが、どの企業も人材不足により事業拡大を実施できていない状況が続いている。
			雇用形態の様子	・地元企業を中心に正社員などの直接雇用での採用意欲が高い。足元の業績が堅調に推移しているなかで、将来を見据えての採用を行っている。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・3か月前と変わらず景気は良くなっている。小売りや派遣など一部の不人気業種や慢性的な人手不足の建設業などを除き、大手を中心に予定の採用者数に対して順調に内定出しが行われている。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	それ以外	・有効求人倍率はこの3か月間、1.2倍前後で推移しており、変化は見られない。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・新規求人は前年同月とほぼ同水準で推移している。有効求人倍率も同様の状況である。
		学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・求人状況が悪くなったと思ったら途絶えたりしており、結局は変わっていない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・求職者確保に一層苦戦している。求人誌への掲載や各種相談会を実施しているが、前年と比べると動きが鈍くなっている。安定志向と時短希望者の増加が、企業オーダーとのミスマッチの原因である。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		周辺企業の様子	・住宅や不動産は前年同時期と比較すると動きが出てきており、百貨店やスーパーなど流通小売業も夏の商戦はまずまずの数字を残している。一方、車両販売業の大多数で売れない状態が続いており、決して楽観できる景況ではない。	
悪くなっている	-	-	-	-

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（事務局長）	来客数の動き	・プレミアム付商品券をうまく取り込んで売上の底上げが図られている店舗がある一方、従来の現金売上が商品券に替わっただけで商品券の効果がない店舗もある。店舗によって好不調の差がみられる。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・猛暑効果やお盆の盛り上がりなどで、来客数が前年比プラスで順調に推移している。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・8月の新車受注は伸びておらず、登録数は前年並みとなっている。地区の販売店の数字も振るわない。9月以降、各社とも新車の投入があるので期待している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・8月に入って、お盆の帰省や同窓会帰りなどでのタクシー利用が多かった。また、夏祭りや花火大会などで人の動きがあり、2～3か月前と比べて良くなっている。
		通信会社（支店長）	来客数の動き	・よさこい祭りで人も多く、お盆商戦もそこそだった。9月には新端末を発売するので、期待している。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・年度後半の受注量が民間物件で増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・顧客動向に活発感は多少感じられるが、来客数は前年並みで推移しており、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑日が続いて夏物の出足が悪かった。夏祭りなどのイベントが行われて人出は多かったものの、依然として財布のひもは固い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・繁華街の中心地に大型商業ビルが建ち、人通りが増えた。見物の人は多かったが、売上にはあまり反映されていない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・少しでも安く買おうとする消費者が多く、量販店へ客足が流れるため、専門店での消費は少ない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は増えてきているが、美術品など高額品が売れなくなってきている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・8月前半の猛暑でセールが好調だった。また、食品や大型専門店も堅調に推移しており、前年並みの売上になる見込み。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・お盆までは好天が続いて夏物の動きが非常に好調であった。しかし、月後半は気温の低下とともに売上が落ち、月次売上は3か月前とほとんど変わらない。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来店客数は引き続き好調に推移しているが、客単価が伸びていない。値上げ等の影響により買上点数が伸びないことが要因だろう。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客数は増加している。ただし、お金を使う日と節約する日の使い分けが以前より顕著になっている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・猛暑日が続いて来店客数は順調に推移したが、客単価が前年と比べて減少しており、好転しているとはいえない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・8月は20日頃までは前年に比べて良かったが、その後は雨に叩かれて非常に厳しい状態になり、結果的に厳しい数字に終わった。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・天候の影響もあるが、前年比5%程度のマイナスで推移している。節約志向が依然として強く、1人当たりの購入点数も減少している。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・エアコン等の季節商材の販売数は増えているが、他の商品が低迷しているため全体としては変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車販売は不調が続いており、上向いていない。地方の景気は良くない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注は、消費税増税の影響が続いた昨年を少し上回る程度で推移している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・来客数は微減傾向にあるが、若干の単価上昇で前年並みを維持している状況が続いている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・例年通り、お盆や夏休みのある8月は悪い。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・3か月前とあまり変わっていないが、和風の宿を選ぶ客が増えている。外国人客が増えたことで、日本人にも日本の文化を大事にする意識が少し出てきたためではないだろうか。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・よさこい祭りで、宿泊客は多い。県外客はプレミアム旅行券の効果が大きく、夏休み期間なので県内客も多かった。一方、レストランや宴会は減少しており、宿泊の伸びが一過性と思われることもあり、景気はやや下向きに近い。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・前年同期に比べ、販売数が低減している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・想定ほど販売量が伸びていない。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・先月より加入件数が若干落ちているが、悪くなっているとまでは言えない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・台風等の影響で入場者・売上とも大きく減少した昨年を上回ると予想していたのだが、今年もあまり伸びなかった。
美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に低いままである。		
美容室（経営者）	お客様の様子	・新規の客は少なく、固定客がほとんどである。		
やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・地方経済における消費の盛り上がりは株式市場に左右される。中国から始まった世界同時株価大暴落は極めて深刻な悪材料だ。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔書籍〕(営業担当)	販売量の動き	・雑誌の廃刊が7～8月と続き、雑誌の売上が低迷している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(支配人)	販売量の動き	・特に衣料品の売上が芳しくない。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・例年8月は、販売量が低下する傾向にある。
		競艇場(職員)	販売量の動き	・8月の売上は、前月比5%増、3か月前比15%減、前年比4%増となった。女子レーサーのG1レースが売上増に寄与したものの、本場開催日の減少や休みの増加等により本場売上は大きな伸びにならなかった。
		住宅販売会社(従業員)	来客数の動き	・見学会などイベントの来場者も、問い合わせ数も減っている。
	悪くなっている	乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・昨年同様、最悪の状態にある。昨年8月に過去最低の水準を経験したが、今年も一昨年比65%程度まで落ち込んでいる。
タクシー運転手		来客数の動き	・暑い夏はお遍路の仕事がない。街中も昼間の動きが悪く、夜も乗車が少ない上に長距離もなく、水揚げが上昇しない。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	木材木製品製造業	受注量や販売量の動き	・7月の工場生産実績はここ5年間の中でも1、2を争う程であった。8月に入って若干落ち着いてはいるが、悪い状態ではない。年後半まで横ばいが続く見込み。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・中国人の爆買に支えられ、化粧品の売上が大幅に増加しており、受注に追い付けない状況にある。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・太陽光発電は価格が下落したものの、受注はあまり減っておらず、引き合いも多い。そのほか、新たに始めたバイオマス発電の引き合いが非常に多い。他の設備についても注文は途切れず、見積など引き合いがある。
		電気機械器具製造業(経理)	受注量や販売量の動き	・得意先への販売量が微増傾向にあり、概ね堅調である。
		輸送業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・単価が上昇している。
		公認会計士	取引先の様子	・顧客の決算書、試算表等によると、前年に比べて赤字法人が若干減っているものの、大きな変化はない。今のところ景気はあまり変わらない。
	変わらない	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・大きな変化は見られない。
		建設会社(経理担当)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に減少している。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・必要な受注量が確保出来ていない。
		輸送業(営業)	受注量や販売量の動き	・7月後半から8月前半にかけて晴天が続き気温も上昇したことから、減少傾向にあった取扱物量が到着貨物を中心に増加した。しかし、お盆以降は取扱物量が減少に転じ、台風の影響も受けて減少に歯止めがかからなかった。
		金融業(副支店長)	取引先の様子	・輸出関連企業は、円安に伴って収益が改善している。その他の企業では売上が徐々に上向いてはいるが、収益の改善にまではつなげていない。
やや悪くなっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・東日本は夏物の動きが非常に良く、売上が上昇している。一方、西日本は天候が良くなかったせいか、小売店店頭の動きは鈍く、前年に比べて売上が悪い。6～7月と全体では良かったが、8月は前年並みになり、秋は厳しくなると予想している。	
	鉄鋼業(総務部長)	受注量や販売量の動き	・受注量・売上量共に減少傾向にある。	
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年と比べて国、県共に公共事業が少なく、大手との競争で受注環境が厳しくなっている。繰越の手持ち業務も無くなりつつあり、売上が低下している。	
	通信業(部長)	受注価格や販売価格の動き	・新たな制度やサービスが始まらない状況下で価格競争に陥りがちになっており、販売価格が低下している。前年度と比べてやや悪くなっている状態。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・一部の客を除いて受注量が低調に推移している。円安が続いていることから、生産の国内回帰も散見される。
雇用 関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・これまで派遣登録に来ていた求職者層が、正社員の求人で決定する割合が増え、登録者数が昨年より少ない傾向にある。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・県内企業は、新卒・中途とも求人数を軒並み増やしている。長い不景気で採用を控えていた企業でも受注量が増えており、不足する人員の補充だけでなく増員を目指す企業も多い。
		職業安定所	それ以外	・7月の有効求人倍率は1.15倍で、3か月前より0.06ポイント改善している。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・8月以降、就職セミナーが数多く開催されているが、参加学生が非常に少ない。会場によっては、参加者0人というセミナーもあった。学生の就職活動が順調に推移しているものと思われる。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・来年度の新卒採用者の内定が決まりつつあるが、中途求職者とのマッチングは厳しい状況が続いている。景気が上向き気配はみえない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・ここ最近の新聞の求人広告は好調で、8月の伸び率は150%近くまで上がり際立っている。ただ、求人への伸びが全体の広告出稿金額に連動しておらず、クライアントは景気を実感できていない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・7月の新規求職者数は、前年比7.5%の減少となった。離職者、在職者共に前年より減少している。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・過去に例のない有効求人倍率が続いているが、非正規求人が約4割を占めており、条件も好転していないことから、景気が好転しているとは言い難い。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求職者数が減少傾向にある中、企業側も能力を重視した採用が目立つ。ミスマッチが多く、就労につながらない。
悪くなっている	-	-	-	

10. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)	良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・7月に発売されたプレミアム付商品券の効果などもあり、来街客数も単価も上がっている。景気は上昇していると言える。
		スーパー（業務担当）	来客数の動き	・8月末での閉店が決定しており、全館クリアランスセールを実施中である。通常の1.5倍の来客数で売上金額も伸びている。
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・梅雨明け以降、天候が安定して来客数が増えている。
		百貨店（企画）	販売量の動き	・今春の駅ビル新規オープンで来客数が減っていたが、徐々に顧客が戻っている。ただし、商況は依然として厳しい。
		百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・先月末より前年を上回る売上で推移しており、消費者の購買意欲に回復の兆しがみられる。客数・客単価ともに上昇している。
		百貨店（店舗事業計画部）	お客様の様子	・長梅雨が明けて真夏日になると、UV対策商品や行楽用品などが顕著に動く。外国人観光客は今夏もコンスタントに増えており、これまで以上に幅広く品物を購入している。売上入店客数以上に売上金額が伸びている。
		スーパー（統括者）	販売量の動き	・売上も利益も好調であることから景気は良くなっていると考えられる。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・食パン、菓子パンの販売数量が上がってきている。
		衣料品専門店（総務担当）	それ以外	・9月オープンを目標にリニューアル工事をしているのだが、8月前半にキャンペーンを行ったため、売上や客数などは例年に比べて増えている。
		衣料品専門店（チーフ）	販売量の動き	・8月に入り、プレミアム付商品券を使う客の購買単価が上がっている。使用期限は1月までだが、客の使用頻度が高い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・8月に入って天候が回復したこともあり、売上の中心である大物商品のエアコンや冷蔵庫がしっかり販売できているので、良い傾向にある。		
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・お盆前までの猛暑により、夏物商品の動きが非常に良かった。		
		家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・8月中旬まで、エアコンや冷蔵庫等の夏物家電の動きが良く、前年を大きく上回っている。		
		その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	お客様の様子	・近くに大手企業が数社あり、夏の異動時期なのか新規の客の来店と購買が目立つ。		
		その他専門店【書籍】（副店長）	販売量の動き	・プレミアム付商品券や多子世帯応援券の使用が増えており、台風が直撃した割に堅調である。		
		スナック（経営者）	来客数の動き	・夏のボーナス以降、会社員の客数が増えている。ボーナスが良かったようだ。		
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・近隣施設の世界遺産登録の影響で、宿泊・レストランともに順調に伸びている。宴会も前年に比べて大幅増となっている。		
		都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・宴席や宿泊、レストランは良い数字が出ているが、婚礼は前年をやや下回る状態が続いている。		
		都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・夏休みでもあり、家族連れやインパウンドが圧倒的に伸びている。		
		タクシー運転手	来客数の動き	・東京や大阪、名古屋方面に就職した人がお盆で帰省するので、動きが良い。		
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・仕事の引き合いや相談が増えている。		
		変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・例年になく猛暑となったが、当商店街では空調設備がない。客は高齢者が多いので来客数が減少している。またお盆明けは台風の影響で、魚、野菜が値上がりし、客の買い控えが多くみられた。
				一般小売店【生花】（経営者）	販売量の動き	・最近、物産館に出店したが、出店先では商品の単価が安いというのにマージンを支払う必要があるため、販売数量は増えているが利益は上がっていない。8月は例年暇であるが、今年は、お盆用の花が売れたので少々忙しくなった。
一般小売店【茶】（販売・事務）	お客様の様子			・猛暑で人の動きが少ないので、客足が伸びず売上に結びつかない。近所の商店街ではプレミアム付商品券でにぎわう所もあるようだが、こちらは冷えきった状態である。		
百貨店（営業担当）	来客数の動き			・夏休みの家族向けイベントと食堂街リニュアルオープンに来た客は多かったが、売上への効果はいま一つであった。台風の影響で、トータルの来店客数は減っている。8月を通してみると、日曜日の来店客数が減っている。土日よりも平日の方が来店数の伸びが大きい。紳士雑貨と婦人雑貨、紳士衣料は回復の兆しが出たが、主力の婦人衣料はまだ苦戦している。		
百貨店（業務担当）	お客様の様子			・これまで夏のクリアランスは、最終価格になるとある程度の売上が見込めていたが、今年は最終価格でも客の反応はない。どうせ買うならこれからも使える品にお金を使いたいという客や、無駄な買物はしないという客が多い。		
百貨店（売場担当）	競争相手の様子			・売上見通しの前年比をみると、当店は100%、エリア内の百貨店や大型商業施設3店舗は、それぞれ113%、104%、99%である。また3か月前と比べると、当店を含む4店舗ともプラスになっている。当店は、3～6月は来客数が前年を割っていたが、7～8月は前年をクリアし8月は前年比102.2%である。客単価の前年比は非食品が102.5%、食品が104.2%である。購買率はやや落ちているが、購買数量は落ちていない。特にインパウンドが好調だ。		
スーパー（経営者）	販売量の動き			・中国がきっかけになった世界的な株安や景気の後退が心配である。		
スーパー（店長）	販売量の動き			・暑い日が続いた割には、季節商材の動きが意外に良くなかった。		
スーパー（店長）	販売量の動き			・生鮮食料品以外の食料品や衣料品の動きが悪くなってきている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・青果は相場高の影響があり、前年比112%で推移している。競合との価格競争がある卵やしょう油、油など一般食品は、前年比98%と少し落ちている。食料品全体では101.2%で推移している。相場高の影響で売上は上がっているが、ポイントキャンペーンを行っている火曜日と土曜日以外は前年比を下回っている状況だ。今は、買上点数を増やすことに力を入れている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・食料品は青果商材を中心に好調が続いている。しかし衣料品や住関連商品は買い控えが続き、不振である。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・ここ数か月の売上は、上向きの傾向である。今夏は雨も少なく、晴れの日が多い。飲料や乾麺などの売行が良い。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・依然として客は必要な物以外は買わない。
		コンビニ（店長）	競争相手の様子	・知り合いのコンビニエンスストアが、何店舗か閉鎖する。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・猛暑により、客がまったく来ない。
		衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・お盆にかけて夏物セールはそこそこ売れたが、初秋物の立ち上がりがとても悪かった。全体に買上客数が増えなかった。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・セールが早めに収束し、月の後半は例年より涼しくなったので、秋物は動いた。ただ端境期なので、売上としては大きくない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の買い換え客が買い控えをしており、なかなか受注が伸びない。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新型車の販売は堅調だが、それ以外の車種の売行きが鈍い。値引き競争があり、利益率の低下が悩みの種である。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	販売量の動き	・先月から燃料油の小売価格は下げ基調であったが、現在はやや下げ止まり感がある。販売量はほぼ前年並みである。顧客からは、夏の賞与が前年より増えた様子が見え始める。カーケア商品販売についても、やや上向きである。
		ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・3か月前と同様に売上が計画値を上回って推移している。プレミアム付商品券の発行や、インバウンドの客が下支えしているようだ。
		その他小売 [ショッピングセンター]（広報担当）	販売量の動き	・梅雨明け後は天候が良く、それに呼応して衣料品が堅調に推移している。食品や住居関連も夏物を中心に良い動きだが、売上は前年並みとなっている。
		その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（統括者）	販売量の動き	・物価高で売上が低迷している。インバウンドを取り込んでいる施設は前年売上を上回ることができているが、そうでなければ前年割れの状況となっている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・お盆があり当店のよう企業向けの店はかなり厳しい。前半よりもお盆明けのほうは少しずつ客が入って、少し盛り返した。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・全国的なイベントが7月から開催されているが、客の流れをみても大きな変化がない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・桜島の噴火警戒レベルの引上げや、台風などマイナス要素もあるが、国内旅行は好調である。海外旅行は9月の大型連休もあり連休が分散し、直近では前年を下回っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は猛暑でタクシーを使う人が多かった。イベントが多く、観光客も増えているので前年並みは維持できている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月はいろんな催し物やイベントがあり、昼夜問わず、車が足りない時間帯が出るくらい稼働が良かった。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・季節変動以外に、販売量の変化がみられない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・申込状況が芳しくなく、割安契約への移行を希望する客が多い。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月は猛暑や雨でゴルフには適さない天候だったが、利用は前年並みだった。団体職員や公務員などの利用が少なく、週末はやや伸び悩んだ。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
やや悪くなっている		美容室（経営者）	販売量の動き	・天候不順などにより、数か月前から横ばいが続いている。数字をみる限りではそんなに上向きではないので、新しい景気対策等を必要としている。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	来客数の動き	・現在は上向きでもなく、下向きでもなく、前年と同じ動きをしている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・8月は猛暑と台風があり、土日の来客数が少なかった。景気がいい地域もあるようだが、九州の場合、末端の市民にまで届いていない。家を取得するには厳しい状況である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量はほぼ横ばい状態が続いている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・春先からの生活必需品の値上がり、消費行動の慎重さに拍車をかけている。所得の格差が、客の様子に顕著に表れている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・天候の不順や隣接するアーケードの撤去工事が長引いたこともあり、商店街の通行量が極端に減ってきた。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・当商店街のなかでも閉店する店舗が目立ってきたので、非常に危機感を持っている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・8月に入って、来客数が激減している。当商店街の専門店の夏物セールが終盤に入ったこと、郊外大型ショッピングセンター間でセール合戦が起き、そちらに客が流れているのが原因であると分析している。
		一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・長雨と台風の影響で、全国的に野菜が不作だ。今後の見通しが立たず、価格が高騰している。ただでさえ売上が落ちる暑い時期に価格が高騰したため、厳しい状況である。この状況は、10月中まで続く見通しである。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	来客数の動き	・来客数が暑さとともに減っている。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・お盆で忙しかった店もお盆明けは厳しいようで、良い話はなかなか聞けない。魚種が少なく、思うような品ぞろえができない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・天候の影響もあり、8月に入って伸びてきた。ただ、株の乱高下の影響で富裕層による高額商品の売上にややブレーキがかかっており、今後は厳しくなるという見方をしている。
		百貨店（営業統括）	販売量の動き	・8月に入り、セールで衣料品の動きが出てきたものの、年配者向けの婦人服の動きは弱い。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年と比べると、客数も客単価も落ちている。悪天候のせいもあり、季節商材の売行きが悪い。客の財布のひもは固く、売上が大幅に下がっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べると、来店客数が極端に少なくなっている。
		住関連専門店（経営者）	それ以外	・前年と比べると今月は良くない。周りに聞いても同様で、売上は低迷している。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・来客数のわりに販売量が増えず、売上が上がらない。火山や台風などの影響で、前年を下回っている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・前月より予約・来店数が減少気味である。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数も前年及び前月より減ってきており、メニューの単価も下がっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・客から景気が良いという話を聞くことが、以前より減っている。中国の景気の減速が影響しているのか、外国人観光客に3か月前の勢いはない。
タクシー運転手	お客様の様子	・昼のタクシー利用は少ない。夜は暑いので夜のピアガーデン帰りの利用者が少し増えた。だが昼よりややましな程度で、今月は特に悪い。		
競輪場（職員）	販売量の動き	・業界の販売総額に伸びしろがない。		
美容室（経営者）	来客数の動き	・3か月前の5月は、子どもの日やゴールデンウィークなどのイベントがあり、それに合わせて美容室に来店する客がいるが、8月は特にイベントがない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	競争相手の様子	・人員不足と4月からの介護報酬マイナス改定により、同業他社の第1四半期の損益は悪化しており、当社においても前年度から利益減の状況となっている。
		音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・これから秋にかけて転勤の時期になり、生徒数が減る。
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の購買意欲が低い。問屋や小売店が商売が成り立たず、店をたたんでいる。
		高級レストラン（専務）	来客数の動き	・とにかく来客数が減少傾向にある。暑さやお盆の休みも大きく影響している。 ・当地は台風や火山噴火、また中国の株価暴落などで客の動きが悪くなり、市内も客の数が増えない。
企業動向関連 (九州)	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		繊維工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が多くなってきた。断らざるを得ないものもあるほどだ。
	電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・引き続き車載関連の半導体の引き合いがきている。	
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・猛暑の影響が、物量自体は上向いている。ただし労基の規制が足かせて人手不足が起き、経営に深刻な影響をもたらしている。	
	金融業（得意先担当）	取引先の様子	・取引先の状況を聞くと、プレミアム付商品券の効果もあり、売上が増えたという声がある。当地区の主要産業である建設業においても徐々にではあるが、発注量が回復しつつあるようだ。マインドは良くなってきている。	
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・積極的に人材を採用する取引先企業が増えている。	
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	受注量や販売量の動き	・社有設備の更新案件が増えている。効率化目的の基幹システムの更新や省エネ目的の熱源設備など、比較的高額な機械類も多く、前年よりも明らかに商談が増えている。	
	変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年同様、お盆前はスーパーや居酒屋などが順調で、注文に応じきれない状況であった。原料調達も前半は問題なかったため、工場生産は順調である。ただし、後半のお盆明けは販売量が少し落ちてきた。食品加工メーカーからの引き合いは、引き続き強い。
		農林水産業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・国内在庫が少ないが、需要はある。現状維持である。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原料の端境期なので製造量は十分ではないが、比較的順調に販売できた。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・商業施設やホテルなどの出店が一段落している。先月までは出店リストが増えていく一方であったが、今月はやや停滞気味だ。全般的に悪くはないが、回復傾向は止まったようだ。
		化学工業（総務担当）	それ以外	・当工場の製品は景気の影響等をあまり受けない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・変わらない状況が続いているが、9月からは悪くなってくるのではないかと危惧している。現状を維持するために、新規の仕事を増やしている。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・客の様子は変わらない。
		建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・現時点ではある程度、官公庁からの発注があるが、お盆前後はまったくない。このまま年度末に発注がずれ込むのではないかと心配である。いまの手持ち工事は、いつか完了する。早目に発注がないと、景気は一向に上がらない。
		輸送業（総務）	受注量や販売量の動き	・特に変化はみられない。
		通信業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・マイナンバー関連システムの受注があり、業務は堅調であるが、その後の受注案件がみえてこない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・3か月前と比べて、景気はほとんど変わらない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・雇用・所得環境は改善してきているが、自動車の販売が伸び悩んでいる。百貨店・スーパーなどの売上は、ほぼ横ばいで推移している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（営業）	取引先の様子	・円安による製造業の国内回帰の動きが鮮明である。しかし、中国問題や朝鮮半島の不安定さから、株価が乱高下しており、景気の方角感がわかりづらくなっている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・株安の動きはあるが、百貨店の売上はインバウンドに支えられており、以前好調である。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・建設業、不動産業については売上が安定しているものの、小売業、サービス業など一般消費にかかわる業種では売上の低迷が続いている。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・9月開催の有料セミナーに向けてチラシ3千枚を配布したが、非常に反応が弱い。
		経営コンサルタント（社員）	取引先の様子	・店舗拡大に取り組む企業が増えている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・客の話によると、飲食・宿泊業、タクシーなどは順調だ。中国人や韓国などの外国人旅行者だけでなく、日本人も含めて旅行者が増えている。
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、陶磁器業界は夏の売上が下降気味だが、今年は前年よりも受注量・売上共に悪く、先がみえない状態が続いている。
		金属製品製造業（事業統括）	取引先の様子	・納期の延期が増えており、受注残は増加傾向にあるが、売上に結びつかない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸出に注力している取引先が多く、どうしても外国の景気状況に左右される。ヨーロッパ方面が不調で、中国が不安定。良いのはアメリカだけだが、円安がどのように影響するのが大きな問題だ。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・通年、8月は受注量が落ち込む。今年は前年並みであった。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当初の生産計画より減少傾向であるが、月々でみると年末まで右肩上がりの生産数で推移していく。
		不動産業	受注量や販売量の動き	・分譲マンションなどへの問い合わせが以前に比べて減っており、販売にいたっていない。
		新聞社〔広告〕（担当者）	受注量や販売量の動き	・売上を支えている「旅行」「通信販売」が、共に前年比80%台と大幅減である。旅行広告はタイのテロで、出稿キャンセルとなった。その分をカバーする大型出稿もなく、全体で前年比90%を切る見込みである。
		その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	取引先の様子	・市町村から委託を受けて調査や設計などを行っているが、地方創生の総合戦略策定などに関連する業務以外は予算化されておらず、受注ができていない。他の業者も同様で、自治体の調査や計画に関する業務に偏りがある。
悪くなっている	その他製造業（産業廃物処理業）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格、株価、為替、どれをとっても下がる一方だ。このせいで金属相場が暴落しており、今後の見通しがたたない。	
雇用関連 (九州)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・雇用が正規か非正規かに関わらず好調で、求職者が少なくなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・福岡市を中心に、北部九州は中国・韓国からの観光客の増加が顕著である。大手ホテルでの宿泊は、韓国方面からの旅行者が多く、また宿泊マナーも良い。今後も増えていくだろう。
		職業安定所（職員）	それ以外	・離職者のうち、事業主の都合で離職する者の割合が例年と比較して減っており、また、今年度に入ってから減少傾向が続いている。新規求人数も着実に増加している。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比2.7%増で、2か月連続の増加となった。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・イベント運営を行っているが、協賛企業の集まりが悪い。売上に直結しない事業には、予算はさけない状況である。
		人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・非正規から正規雇用への雇用形態の改善が、確実に広がっている。これは景気だけでなく、労働者派遣法改正等の影響も考えられる。
求人情報誌制作会社（編集者）		求人数の動き	・取扱求人数が、前年を下回って推移している。同業間の競争激化が背景にある。	
職業安定所（職員）	求人数の動き	・昨年の4～6月の新規求人数は10249件だが、今年の4～6月は10024件で減少している。一方、新規求職者も前年比で300人ほど減っている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所(職業紹介)	求人数の動き	・新規求人数も有効求人数も横ばいか、わずかに減少している。
		民間職業紹介機関(社員)	求人数の動き	・派遣依頼数は前年と同じで、動きは少ない。
		民間職業紹介機関(支店長)	求人数の動き	・求人数は減少していないが、増加してもいない。
		学校[専門学校](就職担当)	求人数の動き	・人員確保の目標数に満たない場合、追加求人を繰り返している企業もある。
		学校[大学](就職支援業務)	求人数の動き	・8月中旬以降、中小企業の採用が活発化している印象がある。大手企業の採用活動が一段落したことを受けて、内定辞退が多発しているのが理由で、景気動向とは直接は関係がない。
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	-	-	-

11. 沖縄(地域別調査機関:一般財団法人南西地域産業活性化センター)

(-:回答が存在しない、:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (沖縄)	良くなっている	百貨店(営業企画)	販売量の動き	・前年と旧盆の時期が違い、本年は18日後ズレとなっているため中元ギフト期間のプラス分や、インバウンド売上、改装効果維持により前年同月比+30%強となっている。全国的に厳しい衣料品では+10%強の伸びとなっており、食品では中元ギフト実績を除いても+35%の伸び等、好調な推移となっている。
		スーパー(企画担当)	販売量の動き	・改装した店舗が好調である。部門では、旧盆需要でギフトや総菜、水産が好調であった。
	やや良くなっている	スーパー(販売企画担当)	販売量の動き	・旧盆が前年より後半にあったことや、プレミアム付商品券が一部地域にて使用開始となっていることなどから販売量と単価がアップしていると考えられる。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・前年同期と比較して、来客数が上昇している。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数が前年と比べ、1日当たり100名増えている。
		旅行代理店(マネージャー)	販売量の動き	・大幅な伸びではないが、予約数、売上高など前年度を上回っている。
		ゴルフ場(経営者)	来客数の動き	・客単価も上がり、なおかつ利用人数も増えている。
		住宅販売会社(代表取締役)	来客数の動き	・観光関連の宿泊施設の建築計画など、これまでにあまりなかった案件の相談などが見られる。また、近隣市町村から、公共工事の指名通知が複数あり受注機会が増えている。
		住宅販売会社(営業担当)	単価の動き	・住宅展示場への来場者アンケート結果では、建築予算枠が上向きとなっている。
	変わらない	一般小売店[菓子]	販売量の動き	・観光シーズンに入っていることや、海外からの来沖縄客が多くなっているが、あまり販売量は増加していない。
		コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・前半と後半の大型台風により、営業活動は大きな影響を受けたが、客単価は前年をやや上回る状況である。商品供給も安定すれば、売上は回復する。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・今年の8月は、前半は客の入りは良かったが、後半はイマイチである。原因は色々あるが、主に夏休みの終わりの台風の影響と、旧盆が重なったこと等が挙げられる。
		観光型ホテル(マーケティング担当)	販売量の動き	・客室稼働率において、3か月前とほぼ同様に、前年同月実績に対するマイナス幅が変わらない。今月は台風の影響も受け、直前のキャンセルもあった。
		通信会社(サービス担当)	単価の動き	・前月と変わった様子はない。
その他のサービス[レンタカー](営業担当)		来客数の動き	・予約件数が、前年に比べて10%近くダウンしている。沖縄県全体としては外国人観光客は増えており全体的には良いと思われるが、レンタカーを利用する国内観光客は若干減少しているものと予想される。	
	やや悪くなっている	-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	商店街（代表者） その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	競争相手の様子 来客数の動き	・商店街は零細企業の集まりである。最近は大店が増え値引き競争では対抗できず、また全体的な整備でも大店には太刀打ちできない状態であり、商店街は危機的状況に陥っているという話が数多く聞かれる。 ・台風の日には以前はレンタルビデオ店、映画館、居酒屋は客が多く入っていたが、今年は台風の日の店内はがらで全くだめであった。レンタルビデオ店には客が入っていたようなので、平日を含め、外出する機会が確実に減っているようである。
企業 動向 関連 (沖縄)	良くなっている	食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・今月は旧盆も8月26日～28日と、本土の盆から継続する形であったため、売上が好調に推移した。
	やや良くなっている	会計事務所（所長）	受注価格や販売価格の動き	・リゾートホテルでは稼働率も高水準であるが、客室単価も微増している。
	変わらない	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・スーパーマーケットやコンビニ、外食などの食品系貨物の取扱量は若干増えているが、アパレルや建築資材、家電などの貨物は増減なく安定している状態である。
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者） 建設業（経営者）	受注量や販売量の動き 受注価格や販売価格の動き	・公共工事は着工の遅れで前年比減で、民間工事も前年比減である。 ・受注額が減少している。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者） 学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き 採用者数の動き	・派遣の新規依頼や既存ユーザーからの追加依頼が増えている。職種も幅広く、地域的にも従来より広範囲で、中心部でない市町村の企業や施設からの依頼がある。 ・新卒採用に関する求人数、求人社数が増えている。企業側が雇用に積極的な傾向であることが伺える。
	変わらない	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・今月も派遣登録者数が減少している。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集室） 学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き 周辺企業の様子	・8月の週平均件数は894件で、5月（1035件）と比較すると、マイナス141件だった。 ・急に仕事の受注が入った等の理由での求人が増えている。急に増えた事業の先が不安である。
	悪くなっている	-	-	-